

No 137

2024年
10-12月期

景気動向調査



巻頭 特集アンケート

「 IT の活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況 」



目次

1. 特集アンケート.....	1
ITの活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況	
2. 全国の景気動向.....	20
3. 和歌山県内の景気動向.....	21
4. 今後の景気の見通し.....	28
5. 経営上の問題点.....	29
6. 県内経済指標.....	31

調査概要

1. 調査の対象

一般財団法人和歌山社会経済研究所が保有する企業名簿より 2,000 社を抽出。

2. 調査期間・調査方法

2024年12月3日（火）～12月18日（水）、郵送配付・郵送回収

3. 回収状況

	発送先数	回答社数	回答率 (%)	回答社数（地域別）			
				和歌山市	紀北地域	紀中地域	紀南地域
建設業	200	84	42.0%	33	11	10	30
製造業	400	161	40.3%	59	57	29	16
卸売業	300	103	34.3%	56	15	18	14
小売業	300	105	35.0%	39	18	21	27
サービス業	800	249	31.1%	128	45	30	46
全産業	2,000	702	35.1%	315	146	108	133

4. 地域区分

地域区分	市町村名
紀北地域	海南、紀美野、岩出、紀の川、橋本、かつらぎ、九度山、高野
紀中地域	有田、湯浅、広川、有田川、御坊、美浜、日高、由良、印南、みなべ、日高川
紀南地域	田辺、白浜、上富田、すさみ、新宮、那智勝浦、太地、古座川、北山、串本

1. 特集アンケート

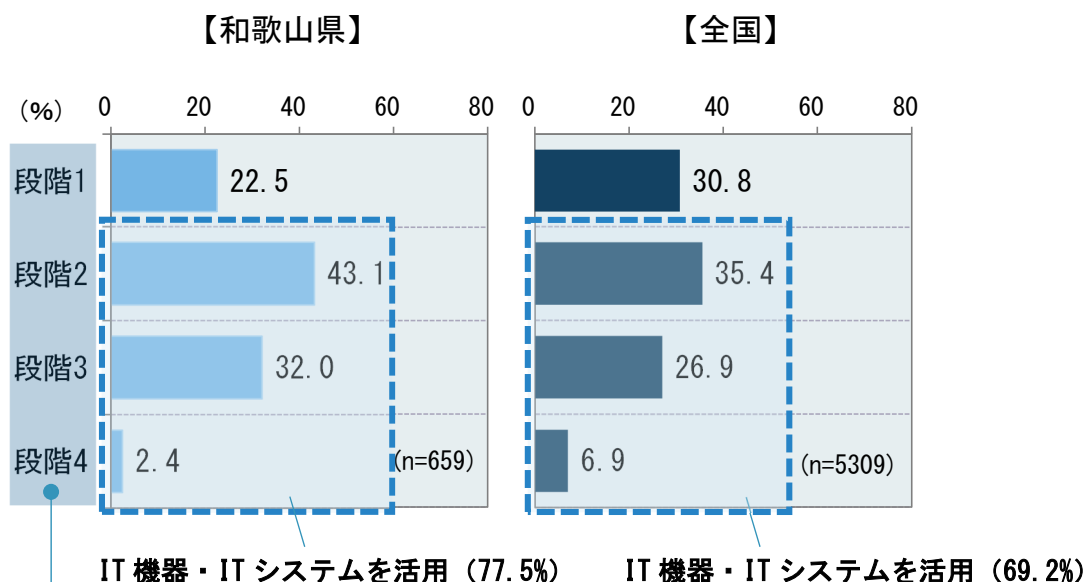
「IT の活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

① 質問 IT 機器・IT システムの活用状況【単一回答】

総括 IT 機器・IT システムを活用している事業者は 77.5%。全国の 69.2%を上回る

- ポイント**
- ① IT 機器・IT システムを活用している事業者の割合では、和歌山県は全国を上回ったが積極活用（段階4）している事業者は 2.4%にとどまり、全国の 6.9%を下回る
 - ② 従業員規模別では、規模の大きい事業者ほど活用段階が高い傾向にある。また、地域別では和歌山市において活用段階の高い事業者が多い

全国調査との比較 (* 全国調査は帝国データバンク「中小企業が直面する外部環境の変化に関する調査」(2023 年実施)



(参考) IT 活用の 4 段階

段階 1	紙や口頭での業務が中心で、IT 機器・IT システムは活用していない (例) 受発注は FAX や電話のみで実施、勤怠管理は手書き・捺印で実施
段階 2	IT 機器・IT システムを業務の一部で活用している (例) 電子メールの利用や会計業務における電子処理などを実施
段階 3	IT 機器・IT システムを活用し、業務の効率化・データ分析を実施 (例) 電子メール利用、会計業務の電子処理、売上・顧客情報などをシステムで管理
段階 4	IT 機器・IT システムを積極活用し、他社との差別化や競争力強化を実施 (例) システム上に蓄積した売上・顧客データを活用して販路拡大・商品開発を実施

(資料) 中小企業庁「2024 年版『中小企業白書』」

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

産業別集計（和歌山県）

	建設業 (n=78)	製造業 (n=149)	卸売業 (n=97)	小売業 (n=99)	サービス業 (n=236)
段階1	23.1	22.8	22.7	26.3	20.3
段階2	55.1	43.6	37.1	40.4	42.4
段階3	19.2	30.2	36.1	32.3	35.6
段階4	2.6	3.4	4.1	1.0	1.7

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=159)	5～ 9人 (n=136)	10～ 19人 (n=131)	20～ 29人 (n=56)	30～ 49人 (n=61)	50～ 99人 (n=36)	100人 以上 (n=62)
段階1	42.8	28.7	15.3	10.7	9.8	2.8	3.2
段階2	42.1	41.9	45.8	39.3	49.2	38.9	43.5
段階3	13.2	29.4	36.6	39.3	37.7	55.6	51.6
段階4	1.9	0.0	2.3	10.7	3.3	2.8	1.6

地域別集計（和歌山県）

	和歌山市 (n=294)	紀北地域 (n=140)	紀中地域 (n=100)	紀南地域 (n=125)
段階1	22.8	20.7	28.0	19.2
段階2	39.1	45.7	40.0	52.0
段階3	34.7	31.4	31.0	27.2
段階4	3.4	2.1	1.0	1.6

1. 特集アンケート

「ITの活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

2

質問 IT機器・ITシステムの具体的な活用状況【複数回答】

(*) 1ページの質問①で「段階1 (IT機器・ITシステムは活用していない)」以外の選択肢を選んだ事業者に質問

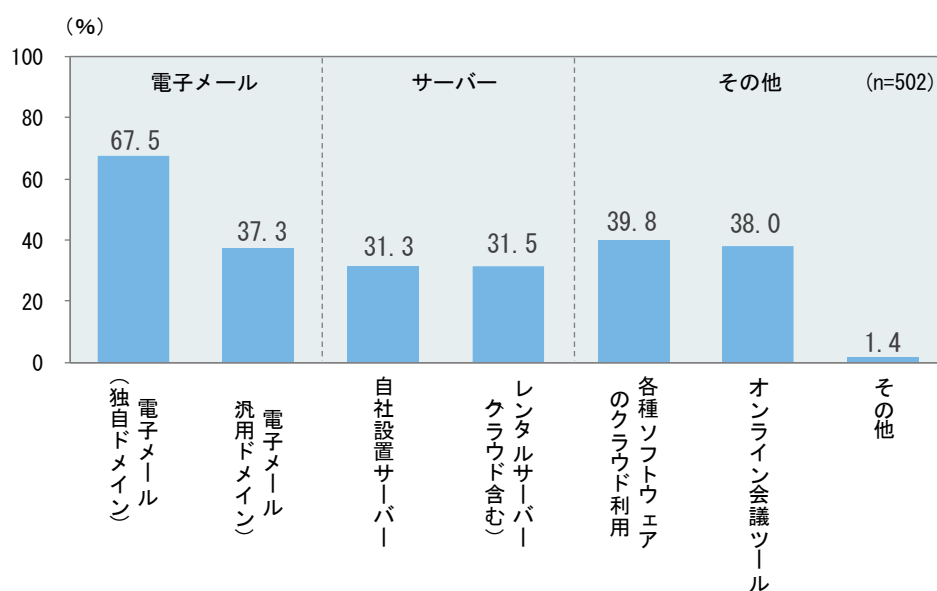
総括

「電子メール（独自ドメイン:自社ホームページ開設可能性の高い事業者）」が67.5%次いで「各種ソフトウェアのクラウド利用」が39.8%と4割を占める

ポイント

- ① 自主的・積極的な情報セキュリティ対策が求められる「自社設置サーバー」の事業者は、31.3%と一定割合を占め、産業別では製造業が高く、従業員規模別では100人以上で高い
- ② IT活用段階別では、全ての項目が段階4で高値になった

全体（和歌山県）



(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

産業別集計（和歌山県）

	建設業 (n=60)	製造業 (n=111)	卸売業 (n=74)	小売業 (n=71)	サービス業 (n=186)
電子メール(独自ドメイン)	78.3	76.6	58.1	64.8	63.4
電子メール(汎用ドメイン)	35.0	32.4	48.6	38.0	36.0
自社設置サーバー	28.3	45.9	32.4	21.1	26.9
レンタルサーバー(クラウド含む)	26.7	28.8	27.0	39.4	33.3
各種ソフトウェアのクラウド利用	38.3	40.5	31.1	42.3	42.5
オンライン会議ツール	40.0	40.5	32.4	35.2	39.2
その他	3.3	0.0	1.4	1.4	1.6

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=87)	5～ 9人 (n=96)	10～ 19人 (n=110)	20～ 29人 (n=49)	30～ 49人 (n=54)	50～ 99人 (n=35)	100人 以上 (n=60)
電子メール(独自ドメイン)	62.1	66.7	64.5	81.6	68.5	77.1	71.7
電子メール(汎用ドメイン)	41.4	45.8	42.7	26.5	29.6	25.7	21.7
自社設置サーバー	17.2	16.7	25.5	40.8	44.4	45.7	60.0
レンタルサーバー(クラウド含む)	25.3	28.1	30.9	36.7	35.2	34.3	41.7
各種ソフトウェアのクラウド利用	25.3	36.5	41.8	46.9	42.6	51.4	48.3
オンライン会議ツール	20.7	25.0	35.5	55.1	42.6	60.0	60.0
その他	3.4	3.1	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0

IT活用段階別集計（和歌山県）

	段階2 (n=277)	段階3 (n=210)	段階4 (n=15)
電子メール(独自ドメイン)	63.5	71.0	93.3
電子メール(汎用ドメイン)	39.4	33.8	46.7
自社設置サーバー	22.0	40.0	80.0
レンタルサーバー(クラウド含む)	22.7	40.5	66.7
各種ソフトウェアのクラウド利用	28.2	52.9	73.3
オンライン会議ツール	27.4	48.6	86.7
その他	1.8	1.0	0.0

IT活用段階

IT 機器・IT システムの活用 の程度を示したもの。IT を活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。詳細は1ページ参照。

地域別集計（和歌山県）

	和歌山市 (n=223)	紀北地域 (n=108)	紀中地域 (n=70)	紀南地域 (n=101)
電子メール(独自ドメイン)	68.6	66.7	62.9	69.3
電子メール(汎用ドメイン)	36.3	37.0	42.9	35.6
自社設置サーバー	35.0	32.4	28.6	23.8
レンタルサーバー(クラウド含む)	34.1	28.7	20.0	36.6
各種ソフトウェアのクラウド利用	41.3	38.0	38.6	39.6
オンライン会議ツール	41.7	38.9	28.6	35.6
その他	0.9	0.0	1.4	4.0

1. 特集アンケート

「IT の活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

3

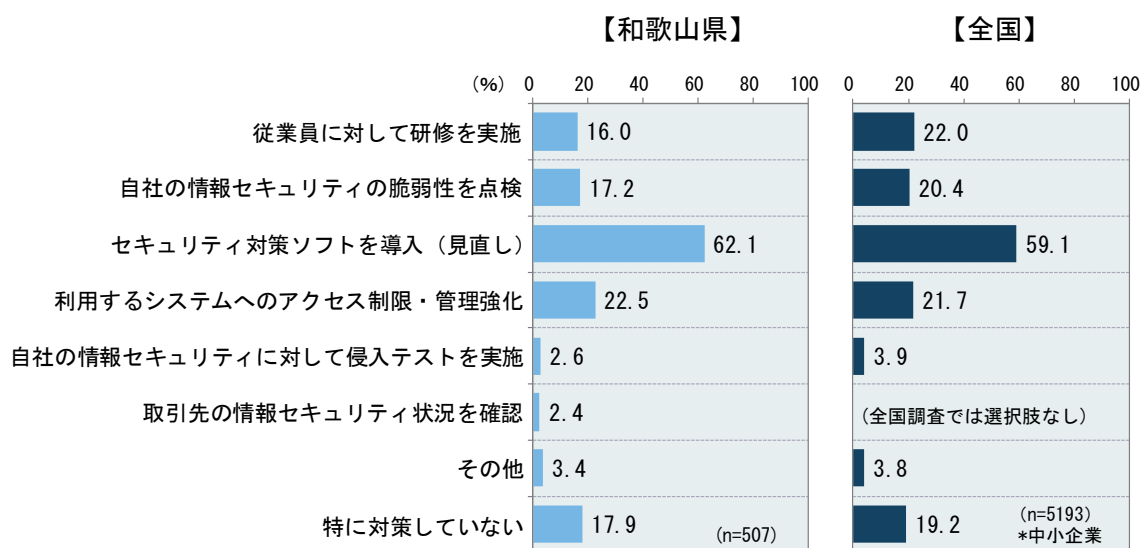
質問 情報セキュリティ対策として実施していること【複数回答】

(*) 1ページの質問①で「段階1 (IT 機器・IT システムは活用していない)」以外の選択肢を選んだ事業者に質問

総括 「セキュリティ対策ソフトを導入 (見直し)」が 62.1%と最も多く、全国の 59.1%を上回る

- ポイント**
- ① 「特に対策していない」は 17.9%あり、特に小売業 (27.4%)、従業員 4 人以下 (28.4%) で多い
 - ② IT 活用段階別では、「自社の情報セキュリティの脆弱性点検」、「利用するシステムへのアクセス制限・管理強化」が段階 4 で最も多い

全国調査との比較 (*) 全国調査は東京商工リサーチ「不正アクセスと情報セキュリティ対策に対するアンケート調査」(2024 年実施)



(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

産業別集計 (和歌山県)

	建設業 (n=60)	製造業 (n=114)	卸売業 (n=73)	小売業 (n=73)	サービス業 (n=187)
従業員に対して研修を実施	8.3	20.2	8.2	15.1	19.3
自社の情報セキュリティの脆弱性点検	20.0	14.9	15.1	11.0	20.9
セキュリティ対策ソフトを導入した(見直した)	71.7	67.5	60.3	50.7	61.0
利用するシステムへのアクセス制限・管理強化	16.7	29.8	20.5	27.4	18.7
自社の情報セキュリティに対して侵入テスト実施	3.3	0.9	1.4	0.0	4.8
取引先の情報セキュリティ状況を確認した	0.0	1.8	0.0	2.7	4.3
その他	1.7	4.4	1.4	4.1	3.7
特に対策していない	13.3	13.2	21.9	27.4	17.1

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=88)	5～ 9人 (n=97)	10～ 19人 (n=111)	20～ 29人 (n=49)	30～ 49人 (n=55)	50～ 99人 (n=35)	100人 以上 (n=60)
従業員に対して研修を実施	9.1	11.3	9.9	18.4	20.0	25.7	33.3
自社の情報セキュリティの脆弱性点検	15.9	10.3	16.2	20.4	10.9	25.7	26.7
セキュリティ対策ソフトを導入した(見直した)	55.7	59.8	67.6	61.2	63.6	68.6	66.7
利用するシステムへのアクセス制限・管理強化	14.8	14.4	21.6	26.5	20.0	28.6	43.3
自社の情報セキュリティに対して侵入テスト実施	3.4	4.1	1.8	2.0	1.8	0.0	3.3
取引先の情報セキュリティ状況を確認した	2.3	1.0	1.8	2.0	5.5	0.0	5.0
その他	2.3	3.1	4.5	6.1	0.0	2.9	3.3
特に対策していない	28.4	19.6	14.4	12.2	16.4	17.1	13.3

IT活用段階別（和歌山県）

	段階2 (n=280)	段階3 (n=211)	段階4 (n=16)
従業員に対して研修を実施	12.1	20.9	18.8
自社の情報セキュリティの脆弱性点検	14.6	18.5	43.8
セキュリティ対策ソフトを導入した(見直した)	61.4	63.0	62.5
利用するシステムへのアクセス制限・管理強化	13.6	32.7	43.8
自社の情報セキュリティに対して侵入テスト実施	2.1	3.3	0.0
取引先の情報セキュリティ状況を確認した	1.4	3.8	0.0
その他	3.2	3.3	6.3
特に対策していない	20.7	15.2	6.3

IT活用段階

IT機器・ITシステムの活用程度を示したもの。ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。詳細は1ページ参照。

地域別（和歌山県）

	和歌山市 (n=225)	紀北地域 (n=110)	紀中地域 (n=72)	紀南地域 (n=100)
従業員に対して研修を実施	19.6	13.6	6.9	17.0
自社の情報セキュリティの脆弱性点検	18.7	15.5	18.1	15.0
セキュリティ対策ソフトを導入した(見直した)	63.1	62.7	58.3	62.0
利用するシステムへのアクセス制限・管理強化	22.7	22.7	16.7	26.0
自社の情報セキュリティに対して侵入テスト実施	3.6	2.7	0.0	2.0
取引先の情報セキュリティ状況を確認した	2.7	2.7	2.8	1.0
その他	1.8	6.4	2.8	4.0
特に対策していない	17.3	18.2	23.6	15.0

1. 特集アンケート

「IT の活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

4

質問 情報セキュリティ対策を行ったきっかけ【複数回答】

(*) 5 ページの質問③で「特に対策していない」以外の選択肢を選んだ事業者に質問

総括

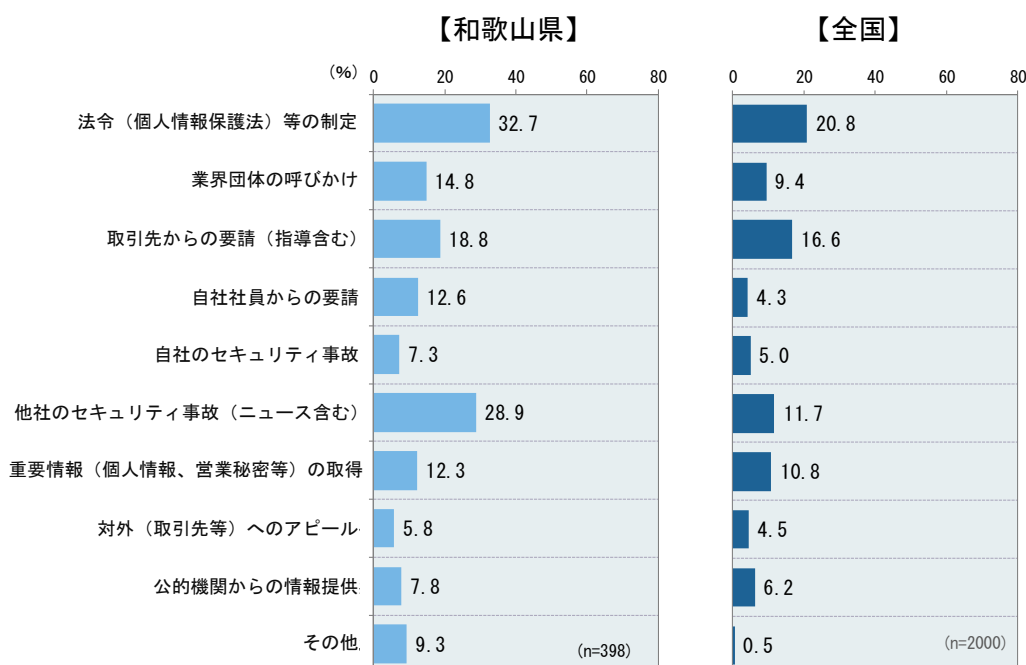
「法令（個人情報保護法）等の制定」、「他社のセキュリティ事故」をきっかけに情報セキュリティ対策に取り組んだ事業者が多い（全国調査に比べても多い）

ポイント

- ① サプライチェーン全体での情報セキュリティ対策が重要になる中で、「取引先からの要請」は 18.8%
- ② 「業界団体の呼びかけ」は 14.8% で、運輸業や医療・福祉などのサービス業で比較的多い

全国調査との比較

(*) 全国調査は三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング「中小企業における情報セキュリティ対策に関する実態調査」(2023 年実施)



(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

産業別集計（和歌山県）

	建設業 (n=50)	製造業 (n=94)	卸売業 (n=54)	小売業 (n=51)	サービス業 (n=149)
法令（個人情報保護法）等の制定	20.0	36.2	24.1	41.2	34.9
業界団体の呼びかけ	12.0	10.6	11.1	17.6	18.8
取引先からの要請（指導含む）	20.0	22.3	13.0	17.6	18.8
自社社員からの要請	14.0	10.6	25.9	13.7	8.1
自社のセキュリティ事故	2.0	10.6	5.6	3.9	8.7
他社のセキュリティ事故（ニュース含む）	38.0	27.7	22.2	29.4	28.9
重要情報（個人情報、営業秘密等）の取得	10.0	18.1	3.7	5.9	14.8
対外（取引先等）へのアピール	8.0	5.3	5.6	5.9	5.4
公的機関からの情報提供	4.0	12.8	3.7	2.0	9.4
その他	10.0	11.7	9.3	5.9	8.7

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=59)	5~ 9人 (n=75)	10~ 19人 (n=91)	20~ 29人 (n=42)	30~ 49人 (n=46)	50~ 99人 (n=24)	100人 以上 (n=52)
法令(個人情報保護法)等の制定	30.5	25.3	28.6	31.0	32.6	50.0	44.2
業界団体の呼びかけ	6.8	20.0	16.5	11.9	8.7	20.8	21.2
取引先からの要請(指導含む)	20.3	16.0	18.7	16.7	23.9	12.5	19.2
自社社員からの要請	10.2	14.7	13.2	21.4	8.7	4.2	11.5
自社のセキュリティ事故	6.8	5.3	7.7	9.5	2.2	16.7	9.6
他社のセキュリティ事故(ニュース含む)	25.4	25.3	26.4	38.1	32.6	37.5	30.8
重要情報(個人情報、営業秘密等)の取得	8.5	4.0	12.1	19.0	10.9	29.2	17.3
対外(取引先等)へのアピール	8.5	4.0	7.7	2.4	6.5	4.2	5.8
公的機関からの情報提供	5.1	5.3	6.6	0.0	15.2	12.5	15.4
その他	11.9	9.3	9.9	9.5	10.9	8.3	3.8

IT活用段階別（和歌山県）

	段階2 (n=215)	段階3 (n=168)	段階4 (n=15)
法令(個人情報保護法)等の制定	26.0	39.9	46.7
業界団体の呼びかけ	14.0	16.7	6.7
取引先からの要請(指導含む)	18.6	19.0	20.0
自社社員からの要請	10.2	15.5	13.3
自社のセキュリティ事故	7.4	6.5	13.3
他社のセキュリティ事故(ニュース含む)	28.8	29.2	26.7
重要情報(個人情報、営業秘密等)の取得	8.8	16.1	20.0
対外(取引先等)へのアピール	5.1	6.5	6.7
公的機関からの情報提供	7.0	9.5	0.0
その他	12.1	6.0	6.7

IT活用段階
IT機器・ITシステムの活用程度を示したもの。ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。詳細は1ページ参照。

地域別（和歌山県）

	和歌山市 (n=180)	紀北地域 (n=87)	紀中地域 (n=51)	紀南地域 (n=80)
法令(個人情報保護法)等の制定	31.1	33.3	41.2	30.0
業界団体の呼びかけ	18.9	13.8	3.9	13.8
取引先からの要請(指導含む)	17.2	13.8	27.5	22.5
自社社員からの要請	11.7	12.6	11.8	15.0
自社のセキュリティ事故	7.2	6.9	11.8	5.0
他社のセキュリティ事故(ニュース含む)	31.7	27.6	21.6	28.7
重要情報(個人情報、営業秘密等)の取得	12.8	8.0	9.8	17.5
対外(取引先等)へのアピール	7.8	5.7	5.9	1.3
公的機関からの情報提供	8.9	8.0	9.8	3.8
その他	10.0	10.3	5.9	8.8

1. 特集アンケート

「ITの活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

5

質問 情報セキュリティ対策を実施する上での課題【複数回答】

(*) 5ページの質問③で「特に対策していない」以外の選択肢を選んだ事業者に質問

総括

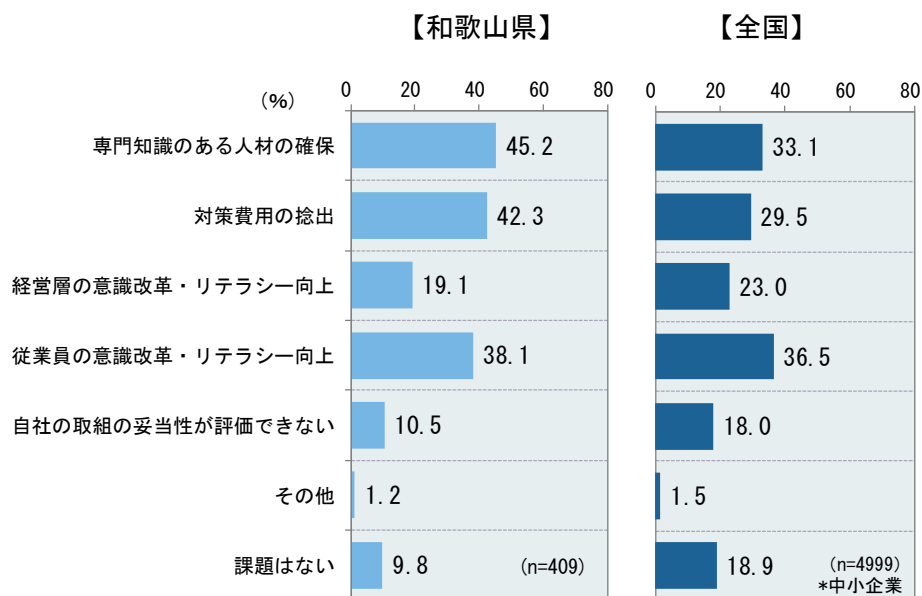
「専門知識のある人材の確保」、「対策費用の捻出」が4割強（全国調査に比べて多い）

ポイント

- ① 「専門知識のある人材の確保」が45.2%で最多。産業別では小売業（54.7%）、地域別では紀南地域（51.2%）で回答割合が高い
- ② 「対策費用の捻出」は42.3%と2番目に多い。産業別では製造業（49.0%）、地域別では紀中地域（60.4%）で回答割合が高い

全国調査との比較

(*) 全国調査は東京商エリサーチ「不正アクセスと情報セキュリティ対策に対するアンケート調査」（2024年実施）



(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

産業別集計（和歌山県）

	建設業 (n=51)	製造業 (n=96)	卸売業 (n=56)	小売業 (n=53)	サービス業 (n=153)
専門知識のある人材の確保	49.0	44.8	48.2	54.7	39.9
対策費用の捻出	29.4	49.0	37.5	47.2	42.5
経営層の意識改革・リテラシー向上	19.6	22.9	16.1	17.0	18.3
従業員の意識改革・リテラシー向上	49.0	39.6	30.4	34.0	37.9
自社の取組の妥当性が評価できない	5.9	10.4	12.5	13.2	10.5
その他	0.0	1.0	1.8	0.0	2.0
課題はない	9.8	8.3	10.7	5.7	11.8

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=62)	5～ 9人 (n=75)	10～ 19人 (n=93)	20～ 29人 (n=43)	30～ 49人 (n=46)	50～ 99人 (n=28)	100人 以上 (n=52)
専門知識のある人材の確保	30.6	36.0	40.9	62.8	54.3	53.6	57.7
対策費用の捻出	40.3	42.7	44.1	44.2	39.1	46.4	42.3
経営層の意識改革・リテラシー向上	17.7	13.3	14.0	16.3	23.9	32.1	26.9
従業員の意識改革・リテラシー向上	21.0	29.3	35.5	32.6	47.8	60.7	61.5
自社の取組の妥当性が評価できない	8.1	13.3	11.8	16.3	4.3	7.1	9.6
その他	0.0	1.3	1.1	2.3	0.0	3.6	1.9
課題はない	16.1	13.3	8.6	4.7	10.9	3.6	1.9

IT活用段階別（和歌山県）

	段階2 (n=220)	段階3 (n=174)	段階4 (n=15)
専門知識のある人材の確保	44.1	44.8	66.7
対策費用の捻出	41.8	42.5	46.7
経営層の意識改革・リテラシー向上	16.8	22.4	13.3
従業員の意識改革・リテラシー向上	31.4	48.3	20.0
自社の取組の妥当性が評価できない	10.5	10.3	13.3
その他	1.4	1.1	0.0
課題はない	10.5	9.2	6.7

IT活用段階

IT機器・ITシステムの活用程度を示したもの。ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。詳細は1ページ参照。

地域別（和歌山県）

	和歌山市 (n=184)	紀北地域 (n=90)	紀中地域 (n=53)	紀南地域 (n=82)
専門知識のある人材の確保	45.7	40.0	43.4	51.2
対策費用の捻出	39.7	41.1	60.4	37.8
経営層の意識改革・リテラシー向上	21.7	10.0	26.4	18.3
従業員の意識改革・リテラシー向上	43.5	27.8	35.8	39.0
自社の取組の妥当性が評価できない	9.8	13.3	7.5	11.0
その他	0.5	2.2	1.9	1.2
課題はない	10.3	13.3	3.8	8.5

1. 特集アンケート

「IT の活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

6

質問 受けたことのある情報セキュリティ被害【複数回答】

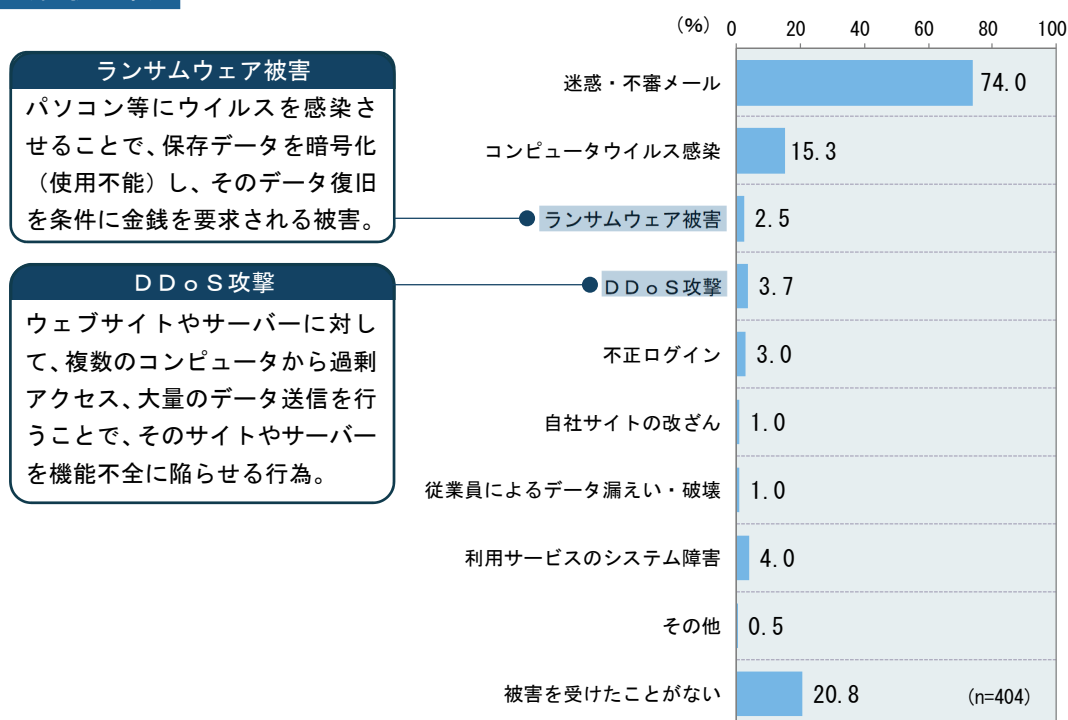
(*) 5 ページの質問③で「特に対策していない」以外の選択肢を選んだ事業者に質問

総括 「迷惑・不審メール」が 74.0%で最多。産業別では、建設業と製造業で 85.4%と多い

ポイント

- ① 「ランサムウェア被害」、「DDoS 攻撃」との回答は少ないが、従業員 4 人以下で回答割合が最も高い
- ② 「コンピュータウイルス感染」が 15.3%で 2 番目に多い。産業別では、建設業で 20.8%と多い

全体（和歌山県）



(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

産業別集計（和歌山県）

	建設業 (n=48)	製造業 (n=96)	卸売業 (n=55)	小売業 (n=53)	サービス業 (n=152)
迷惑・不審メール	85.4	85.4	70.9	73.6	64.5
コンピュータウイルス感染	20.8	13.5	16.4	9.4	16.4
ランサムウェア被害	0.0	2.1	0.0	5.7	3.3
DDoS 攻撃	4.2	5.2	3.6	3.8	2.6
不正ログイン	2.1	3.1	1.8	1.9	3.9
自社サイトの改ざん	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
従業員によるデータ漏えい・破壊	0.0	0.0	1.8	3.8	0.7
利用サービスのシステム障害	8.3	4.2	1.8	3.8	3.3
その他	0.0	1.0	0.0	0.0	0.7
被害を受けたことがない	12.5	12.5	20.0	26.4	27.0

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=61)	5～ 9人 (n=73)	10～ 19人 (n=94)	20～ 29人 (n=43)	30～ 49人 (n=45)	50～ 99人 (n=27)	100人 以上 (n=51)
迷惑・不審メール	65.6	78.1	76.6	72.1	73.3	74.1	80.4
コンピュータウイルス感染	9.8	13.7	19.1	20.9	13.3	11.1	19.6
ランサムウェア被害	4.9	2.7	1.1	2.3	0.0	3.7	3.9
DDoS攻撃	8.2	0.0	3.2	4.7	0.0	7.4	5.9
不正ログイン	4.9	2.7	3.2	0.0	2.2	11.1	0.0
自社サイトの改ざん	1.6	0.0	2.1	0.0	0.0	3.7	0.0
従業員によるデータ漏えい・破壊	0.0	2.7	1.1	2.3	0.0	0.0	0.0
利用サービスのシステム障害	1.6	1.4	4.3	7.0	2.2	7.4	7.8
その他	1.6	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
被害を受けたことがない	27.9	19.2	14.9	18.6	26.7	22.2	15.7

IT活用段階別（和歌山県）

	段階2 (n=218)	段階3 (n=171)	段階4 (n=15)
迷惑・不審メール	70.2	79.5	66.7
コンピュータウイルス感染	15.1	15.2	20.0
ランサムウェア被害	1.8	3.5	0.0
DDoS攻撃	2.3	4.1	20.0
不正ログイン	3.2	2.3	6.7
自社サイトの改ざん	0.9	0.0	13.3
従業員によるデータ漏えい・破壊	0.5	1.8	0.0
利用サービスのシステム障害	0.5	7.6	13.3
その他	0.9	0.0	0.0
被害を受けたことがない	22.5	18.1	26.7

IT活用段階

IT機器・ITシステムの活用程度を示したもの。ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。詳細は1ページ参照。

地域別（和歌山県）

	和歌山市 (n=179)	紀北地域 (n=90)	紀中地域 (n=54)	紀南地域 (n=81)
迷惑・不審メール	72.1	77.8	72.2	75.3
コンピュータウイルス感染	16.8	18.9	11.1	11.1
ランサムウェア被害	2.2	3.3	1.9	2.5
DDoS攻撃	3.4	4.4	7.4	1.2
不正ログイン	2.8	2.2	1.9	4.9
自社サイトの改ざん	1.7	0.0	0.0	1.2
従業員によるデータ漏えい・破壊	1.1	1.1	1.9	0.0
利用サービスのシステム障害	5.6	1.1	5.6	2.5
その他	0.0	1.1	0.0	1.2
被害を受けたことがない	21.8	17.8	22.2	21.0

1. 特集アンケート

「IT の活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

7

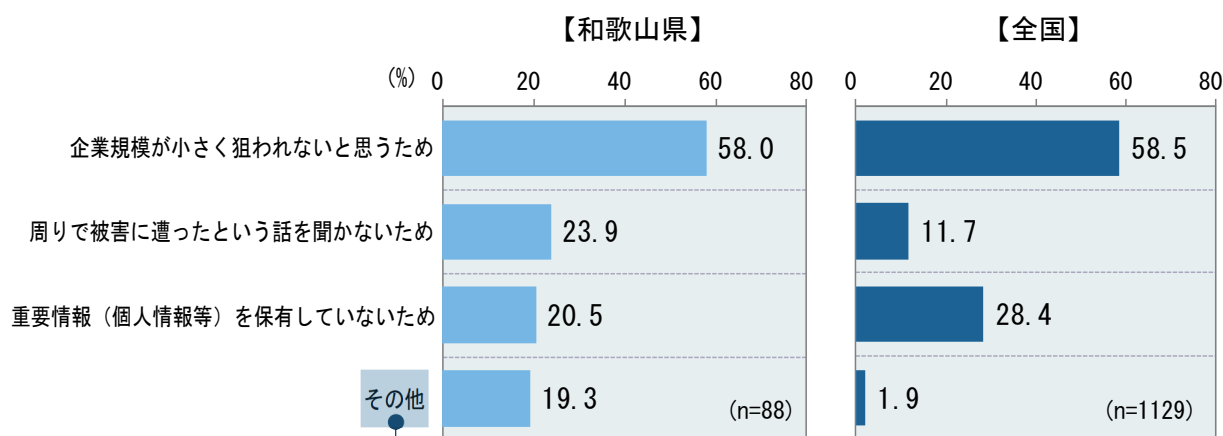
質問 情報セキュリティ対策を実施していない理由【複数回答】

(*) 5 ページの質問③で「特に対策していない」を選んだ事業者に質問

総括 「企業規模が小さく狙われないと思うため」が 58.0% と最も多く、全国と概ね同じ割合

- ポイント**
- ① 「周りで被害に遭ったという話を聞かないため」が 23.9% と 2 番目に多く、全国より割合が高い
 - ② 「重要情報（個人情報等）を保有していないため」が 20.5% と 3 番目に多く、全国より割合が 7.9 ポイント低い

全国調査との比較 (* 全国調査は三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング「中小企業における情報セキュリティ対策に関する実態調査」(2023 年実施)



「その他」の主な意見

- “ 対策の必要性は感じているが、時間的に余裕がなく実施できない”
- “ 任せられる人材がおらず、対策できていない”
- “ どのように対策をすればよいかかわからず、実施できていない”
- “ 従業員各自に対策を任せている”

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

産業別集計（和歌山県）

	建設業 (n=8)	製造業 (n=13)	卸売業 (n=15)	小売業 (n=20)	サービス業 (n=32)
企業規模が小さく狙われないと思うため	75.0	53.8	53.3	60.0	56.3
周りで被害に遭ったという話を聞かないため	12.5	23.1	20.0	20.0	31.3
重要情報（個人情報等）を保有していないため	12.5	23.1	20.0	35.0	12.5
その他	25.0	15.4	33.3	5.0	21.9

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=25)	5～ 9人 (n=17)	10～ 19人 (n=16)	20～ 29人 (n=6)	30～ 49人 (n=8)	50～ 99人 (n=6)	100人 以上 (n=8)
企業規模が小さく狙われないと思うため	84.0	47.1	43.8	50.0	62.5	33.3	62.5
周りで被害に遭ったという話を聞かないため	16.0	23.5	12.5	66.7	25.0	50.0	25.0
重要情報(個人情報等)を保有していないため	16.0	29.4	25.0	16.7	25.0	0.0	12.5
その他	8.0	23.5	37.5	0.0	12.5	33.3	12.5

IT活用段階別（和歌山県）

	段階2 (n=56)	段階3 (n=31)	段階4 (n=1)
企業規模が小さく狙われないと思うため	58.9	58.1	0.0
周りで被害に遭ったという話を聞かないため	23.2	22.6	100.0
重要情報(個人情報等)を保有していないため	26.8	6.5	100.0
その他	12.5	32.3	0.0

IT活用段階

IT 機器・IT システムの活用の程度を示したもの。IT を活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。詳細は1ページ参照。

地域別（和歌山県）

	和歌山市 (n=38)	紀北地域 (n=18)	紀中地域 (n=17)	紀南地域 (n=15)
企業規模が小さく狙われないと思うため	55.3	61.1	64.7	53.3
周りで被害に遭ったという話を聞かないため	31.6	22.2	5.9	26.7
重要情報(個人情報等)を保有していないため	18.4	11.1	29.4	26.7
その他	15.8	27.8	11.8	26.7

1. 特集アンケート

「IT の活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

8

質問 IT 機器・IT システムを活用していない理由【複数回答】

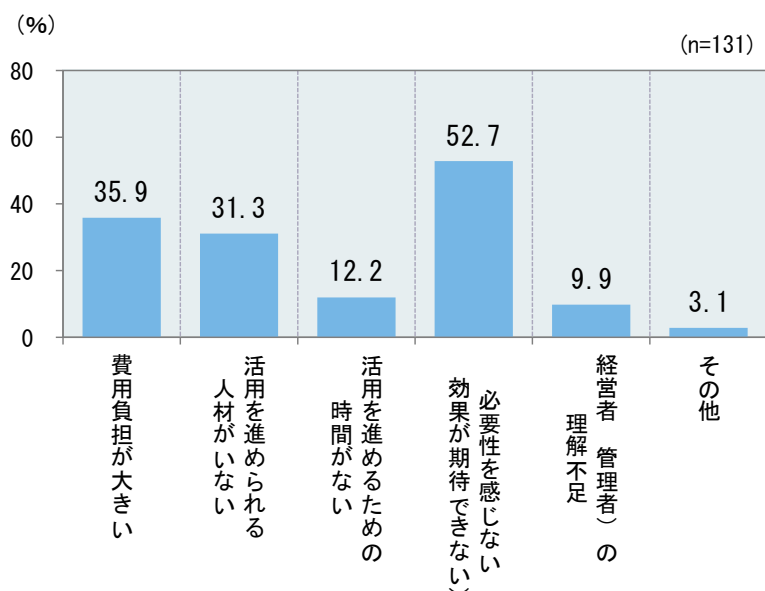
(*) 1 ページの質問①で「段階 1 (IT 機器・IT システムは活用していない)」を選んだ事業者に質問

総括 「必要性を感じない」(52.7%) が最も多く、「費用負担が大きい」(35.9%) が 2 番目に多い

ポイント

- ① 「必要性を感じない(効果が期待できない)」は、従業員数 10 人未満の事業者で回答割合が高い
- ② 従業員 10 人以上の事業者では、「費用負担が大きい」、「活用を進められる人材がいない」との回答が「必要性を感じない」との回答より概ね多くなっている

全体 (和歌山県)



(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

産業別集計 (和歌山県)

	建設業 (n=16)	製造業 (n=32)	卸売業 (n=20)	小売業 (n=21)	サービス業 (n=42)
費用負担が大きい	31.3	43.8	40.0	19.0	38.1
活用を進められる人材がいない	25.0	43.8	35.0	23.8	26.2
活用を進めるための時間がない	12.5	15.6	5.0	19.0	9.5
必要性を感じない(効果が期待できない)	50.0	56.3	40.0	57.1	54.8
経営者(管理者)の理解不足	18.8	12.5	10.0	4.8	7.1
その他	6.3	0.0	5.0	4.8	2.4

(*) 以下の各表における網掛け箇所は、各行間[横方向]において最も高い値を指す。

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=59)	5～ 9人 (n=38)	10～ 19人 (n=19)	20～ 29人 (n=5)	30～ 49人 (n=3)	50～ 99人 (n=0)	100人 以上 (n=2)
費用負担が大きい	33.9	31.6	36.8	100.0	0.0	-	50.0
活用を進められる人材が少ない	18.6	42.1	36.8	40.0	66.7	-	100.0
活用を進めるための時間がない	10.2	10.5	15.8	0.0	33.3	-	100.0
必要性を感じない(効果が期待できない)	67.8	52.6	21.1	20.0	33.3	-	0.0
経営者(管理者)の理解不足	8.5	5.3	26.3	20.0	0.0	-	0.0
その他	3.4	2.6	0.0	20.0	0.0	-	0.0

地域別（和歌山県）

	和歌山市 (n=59)	紀北地域 (n=28)	紀中地域 (n=25)	紀南地域 (n=19)
費用負担が大きい	40.7	53.6	24.0	10.5
活用を進められる人材が少ない	27.1	42.9	24.0	36.8
活用を進めるための時間がない	16.9	3.6	8.0	15.8
必要性を感じない(効果が期待できない)	42.4	71.4	52.0	57.9
経営者(管理者)の理解不足	10.2	10.7	4.0	15.8
その他	3.4	0.0	8.0	0.0

1. 特集アンケート

「ITの活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況」

9 質問 ITの活用および情報セキュリティ対策について【自由意見】

「ITの活用について」

内容	主な意見
前向きな意見	<ul style="list-style-type: none">・ 同業者と情報交換しながらIT活用をさらに進めていきたい・ 生成AIの知識を身につけ、事業の業務効率化に活用したいと考えている。関連するセミナーがあれば参加したい
後ろ向きな意見	<ul style="list-style-type: none">・ ITの活用により、かえって業務が煩雑になっているように感じる・ さまざまな業務支援アプリ（業務進捗等管理アプリ）が登場しているが、業者によって使うアプリが異なるため、効率が悪い・ ITの活用により、余計に時間がかかり、お客様とのコミュニケーションの時間が減っている・ インターネットも使っていないので、ITの必要性を感じない・ FAXを中心としたやり取りの方が、セキュリティ対策もせずに済むので合理的
その他	<ul style="list-style-type: none">・ ITに関する様々なサービスが乱立しており、自社に適切なサービスを選ぶことが難しい・ 災害時に停電した際、IT機器は使用できない。IT依存にはリスクもあり、停電時の準備なども考えておく必要がある

「情報セキュリティ対策について」

内容	主な意見
前向きな意見	<ul style="list-style-type: none">・ 本を購入して勉強していきたい・ 情報セキュリティについて、分かりやすい話を聞きたい・ セキュリティ対策の専門業者との連携を強化している・ 社内で情報セキュリティ対策等の研修を実施している・ ITに詳しい税理士等の意見も聞きながら、必要な対策を講じたい・ IT活用を進め、情報セキュリティ対策についても、自社の脆弱性の点検を行いたい
後ろ向きな意見	<ul style="list-style-type: none">・ とにかく対策コストが高すぎる。必要最小限の対策しかできていない・ 情報セキュリティ対策機器の導入コストが高い上に、職員への周知等の手間もかかる。小規模事業者にとっては多大な負担だった

(次ページに続く)

「情報セキュリティ対策について」

内容	主な意見
後ろ向きな意見	・サイバー攻撃、情報漏えいには不安を感じる。ただし、対策費用が割高だと感じる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティについて、何が正しい情報なのか分かりづらい ・情報セキュリティに関するサービスの利用を検討するも、この分野に詳しい従業員がいないため、適正価格が分からず、導入できずにいる ・ITの活用は必要だと思うが、情報セキュリティ対策をどの程度まで行えばよいのかわからない ・自社において最低限実施しなければならないセキュリティ対策を指摘してくれるような支援機関があってほしい ・情報セキュリティ対策を任せられる人材がいない ・ウイルス対策ソフトを導入済み。特に問題はなく、これ以上の対策の必要性を感じない

【まとめ】 ～ できることから始める情報セキュリティ対策 ～

最後に、今回のアンケートの結果について整理を行う。

- 新型コロナウイルス禍を契機としたテレワークの普及、人手不足を背景とした省力化ニーズの高まりから、多くの事業者がIT機器・ITシステムの利用を進めている。県内事業者におけるIT機器・ITシステムの活用状況を見ると、77.5%の事業者がITを活用しており、その割合は全国に比べても高い結果となった（1ページ）。
- ITの活用が進む一方で、情報漏えいや重要情報の消失、自社サイトのダウン（機能停止）など情報セキュリティ事故が増加している。県内事業者においても、IT活用事業者の約8割が情報セキュリティ被害を受けており、ランサムウェア被害、DDoS攻撃といった深刻な事象が従業員4人以下の事業者においても発生している状況であった（11ページ）。ただし、情報セキュリティ対策の実施状況を見ると、「セキュリティ対策ソフトを導入（見直し）」のみの事業者が大半を占め、対策をしていないとする事業者も一定数見られた（5ページ）。
- 対策を実施しない理由では、「企業規模が小さく狙われにくいと思うため」とする県内事業者が多いが（13ページ）、前述のとおり、企業規模に関係なく、深刻な情報セキュリティ事故は発生していることから、自社のIT活用状況に応じた情報セキュリティ対策が必要と考える。
- 対策を進める際の課題として、「専門知識のある人材の確保」、「対策費用の捻出」を挙げる事業者が多い結果であったが（9ページ）、資金や人員の制約がある中でも、「できることから始められる」対策もある。2024年版の『中小企業白書』（中小企業庁）において紹介されている『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン』（情報処理推進機構セキュリティセンター）では、社内において実践可能な手順や手法がわかりやすくまとめられている。まずは、次ページの「5分でできる!情報セキュリティ自社診断」を参考に、自社のセキュリティ上の課題を明らかにした上で、前述のガイドラインを参照しながら対策に取り組むことが重要と考える。

参考資料

5分でできる！情報セキュリティ自社診断

(資料) 独立行政法人 情報処理推進機構セキュリティセンター

No	診断内容
基本的対策	1 パソコンやスマホなど情報機器の OS やソフトウェアは常に最新の状態にしていますか？
	2 パソコンやスマホなどにはウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義ファイル(*1)は最新の状態にしていますか？
	3 パスワードは破られにくい「長く」「複雑な」パスワードを設定していますか？
	4 重要情報(*2)に対する適切なアクセス制限を行っていますか？
	5 新たな脅威や攻撃の手口を知り対策を社内共有する仕組みはできていますか？
従業員としての対策	6 電子メールの添付ファイルや本文中のURLリンクを介したウイルス感染に気をつけていますか？
	7 電子メールや FAX の宛先の送信ミスを防ぐ取り組みを実施していますか？
	8 重要情報は電子メール本文に書くのではなく、添付するファイルに書いてパスワードなどで保護していますか？
	9 無線 LAN を安全に使うために適切な暗号化方式を設定するなどの対策をしていますか？
	10 インターネットを介したウイルス感染や SNS への書き込みなどのトラブルへの対策をしていますか？
	11 パソコンやサーバーのウイルス感染、故障や誤操作による重要情報の消失に備えてバックアップを取得していますか？
	12 紛失や盗難を防止するため、重要情報が記載された書類や電子媒体は机上に放置せず、書庫などに安全に保管していますか？
	13 重要情報が記載された書類や電子媒体を持ち出す時は、盗難や紛失の対策をしていますか？
	14 離席時にパソコン画面の覗き見や勝手な操作ができないようにしていますか？
	15 関係者以外の事務所への立ち入りを制限していますか？
組織としての対策	16 退社時にノートパソコンや備品を施錠保管するなど盗難防止対策をしていますか？
	17 事務所が無人になる時の施錠忘れ対策を実施していますか？
	18 重要情報が記載された書類や重要なデータが保存された媒体を破棄する時は、復元できないようにしていますか？
	19 従業員に守秘義務を理解してもらい、業務上知り得た情報を外部に漏らさないなどのルールを守らせていますか？
	20 従業員にセキュリティに関する教育や注意喚起を行なっていますか？
	21 個人所有の情報機器を業務で利用する場合のセキュリティ対策を明確にしていますか？
	22 重要情報の授受を伴う取引先との契約書には、秘密保持条項を規定していますか？
	23 クラウドサービスやウェブサイトの運用等で利用する外部サービスは、安全・信頼性を把握して選定していますか？
	24 セキュリティ事故が発生した場合に備え、緊急時の体制整備や対応手順を作成するなど準備をしていますか？
	25 情報セキュリティ対策(上記1～24など)をルール化し、従業員に明示していますか？

(*1) コンピュータウイルスを検出するためのデータベースファイル「パターンファイル」とも呼ばれます。

(*2) 重要情報とは営業秘密など事業に必要で組織にとって価値のある情報や顧客や、従業員の個人情報など管理責任を伴う情報のことです。

2. 全国の景気動向

1 日銀短観で見る全国の景気概況

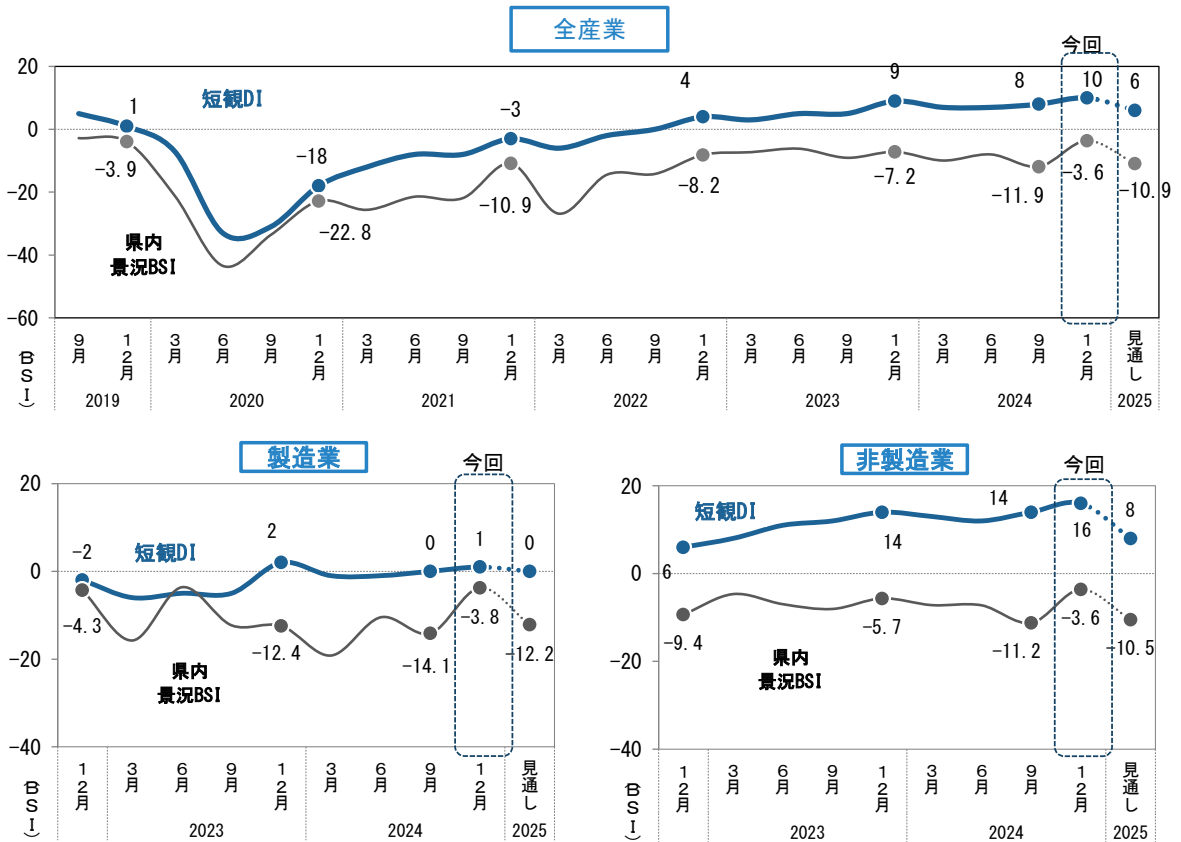
総括

日本国内の景況感を示す短観DI（中小企業）は2ポイント上昇
和歌山県内の景況感を示す県内景況BSIは8.3ポイント上昇し、短観DIとの差は縮小

要点

- 短観DIは、製造業・非製造業ともに上昇し、全体では2ポイントの上昇
- 製造業の短観DIは、石油・石炭製品、窯業・土石製品等の素材業種で業況が改善
- 非製造業の短観DIは、7～9月期の自然災害、南海トラフ地震臨時情報の悪影響がおさまったこともあり、宿泊・飲食サービス、対個人サービスで業況が改善

図表 日銀短観DI（中小企業）と県内景況BSIの推移



2 2024年10～12月における主な出来事

10月	石破新政権発足。経済対策の強化や地方創生に注力するほか同盟国との連携強化を目指す(1日) 衆院総選挙、与党が過半数割れに。政権運営には野党の協力取り付けが必須に(27日)
11月	10月の国内平均気温が統計開始(1898年)以降で過去最高に(1日) 米国大統領選で、輸入品の一律関税引き上げ等を公約とした共和党・トランプ氏が勝利(6日) 独連立政権が崩壊。財政政策をめぐる政権内で対立深まる。2025年2月に議会選挙(6日) 日銀が発表した国内銀行の新規貸出の平均金利(9月)が約10年ぶりの高水準に(25日) 金属労協、2025年春闘で過去最高のベースアップ1.2万円(月額)要求の方針示す(27日)
12月	韓国大統領が非常戒厳を宣言するも、国会からの要求で数時間後に解除(3日・4日) シリア・アサド政権が崩壊。反体制派が首都制圧(8日) 欧州中央銀行(ECB)が3会合連続で利下げ(12日) 英国が環太平洋経済連携協定(TPP)に加盟する議定書が発効(15日) 歳出総額14兆円規模の24年度補正予算が成立。物価上昇に伴う家計負担の軽減を図る(17日) 厚労省発表の実質賃金(10月)は前年比0.4%減となり、3か月連続で減少(24日) 「年収103万円の壁」見直しを含む25年度税制大綱が閣議決定(27日)

3. 和歌山県内の景気動向

1 全産業の景況感

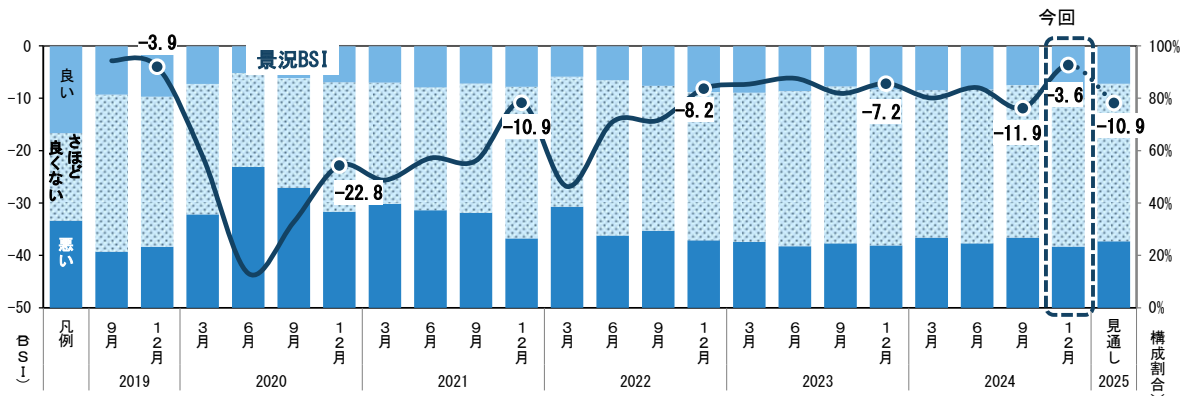
総括

景況 BSI は 8.3 ポイント上昇。コロナ禍前（5 年前）の水準を回復
製造業、卸売業、サービス業で景況 BSI が大幅に上昇

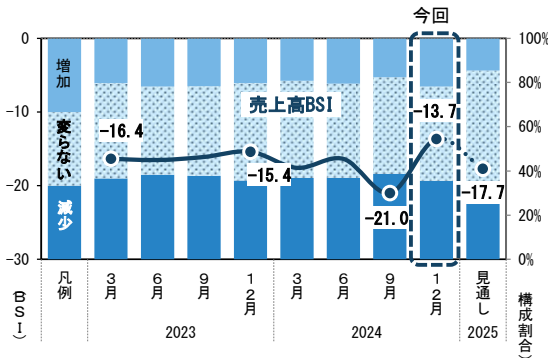
要点

- ① 売上高 BSI、収益 BSI も大幅に上昇
- ② 全ての従業員規模、全ての地域で景況 BSI が上昇

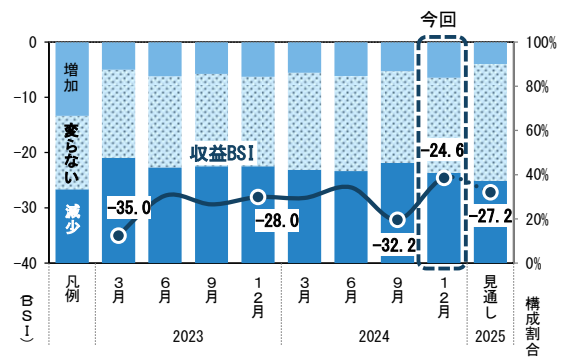
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2023			2024		2024		2025	
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	
	過去実績							今回	見通し
仕入価格 <small>前期比</small>	59.6 ↗	59.7 ↘	58.7 ↘	56.7 ↗	62.3 ↘	57.8 ↗	62.2 ↘	51.5 ↘	
販売価格 <small>前期比</small>	27.9 ↗	29.0 ↘	25.9 ↗	27.4 ↗	29.5 ↘	27.9 ↗	38.7 ↗	33.0 ↘	
在庫 <small>前期比</small>	1.6 ↘	-3.1 ↗	-0.3 ↗	0.8 ↘	-0.5 ↘	-5.3 ↗	-1.9 ↗	-6.6 ↘	
資金繰り <small>前期比</small>	-10.7 ↗	-9.7 ↗	-9.6 ↘	-11.0 ↘	-13.7 ↗	-12.4 ↗	-11.4 ↗	-11.9 ↘	
借入 <small>前期比</small>	-7.6 ↘	-8.0 ↗	-4.6 ↘	-5.6 ↘	-8.7 ↗	-5.9 ↗	-2.4 ↗	-6.5 ↘	
所定外労働時間 <small>前期比</small>	-10.9 ↗	-9.1 ↗	-3.7 ↘	-9.7 ↘	-10.3 ↘	-11.4 ↗	-3.5 ↗	-4.9 ↘	
雇用者数 <small>前期比</small>	-4.3 ↘	-4.5 ↘	-5.8 ↗	-4.1 ↗	0.5 ↘	-4.5 ↗	-3.3 ↗	-1.0 ↗	
雇用適正度 <small>値が低いほど「不足」</small>	-28.4 ⇔	-28.4 ↘	-37.3 ↗	-30.7 ↗	-26.3 ↘	-26.6 ↘	-28.4 ↘	(調査なし)	
設備投資実施比率 (%)	23.0 ↗	23.7 ⇔	23.7 ↘	21.6 ↘	19.6 ↗	21.6 ↗	24.0 ↗	25.4 ↗	

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 産業別 景況 BSI の推移

	2023			2024			2024	2025
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	過去実績						今回	見通し
全産業	-6.2	-9.1	-7.2	-10.0	-8.0	-11.9	-3.6	-10.9
建設業	-1.1	0.0	10.5	-1.2	-5.0	3.3	4.9	2.6
製造業	-3.6	-12.3	-12.4	-19.2	-10.5	-14.1	-3.8	-12.2
卸売業	-13.1	-11.1	-6.5	-7.0	-10.2	-14.5	-4.0	-5.1
小売業	-20.4	-17.0	-28.7	-23.4	-18.8	-20.9	-22.5	-28.0
サービス業	0.0	-6.2	-3.6	-2.0	-2.7	-10.6	1.6	-9.6

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 従業員規模別 景況 BSI の推移

	2023				2024		2024	2025
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	過去実績						今回	見通し
全体	-6.1	-9.1	-6.7	-10.0	-8.3	-12.1	-3.8	-11.1
4人以下	-11.9	-16.9	-22.6	-22.3	-22.9	-27.1	-16.3	-22.2
5~9人	-17.4	-14.6	-9.0	-14.7	-7.5	-22.7	-12.6	-11.8
10~19人	-1.3	-8.3	-2.0	-8.5	-13.1	-2.4	1.4	-8.1
20~29人	-6.2	-8.3	0.0	-10.5	-1.6	-8.6	-1.7	-8.6
30~49人	5.9	-1.2	1.5	1.4	-1.3	1.4	4.7	-11.1
50~99人	19.4	12.5	12.2	20.0	7.3	7.3	14.3	-6.1
100人以上	-3.0	-2.9	1.4	-3.1	16.4	6.3	17.7	8.1

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 地域別 景況 BSI の推移

	2023			2024			2024	2025
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	過去実績						今回	見通し
和歌山市	-4.7	-9.8	-1.5	-7.7	-6.1	-12.8	-1.6	-9.3
紀北地域	-10.6	-13.6	-23.0	-16.0	-13.9	-5.8	-0.7	-8.5
紀中地域	-1.0	-5.2	-3.3	-11.6	-10.2	-9.9	-7.6	-14.4
紀南地域	-8.2	-5.4	-5.8	-7.2	-3.3	-19.4	-8.5	-14.5

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

(参考) 図表の見方

景況 BSI	景気を「良い」とした事業者割合から「悪い」とした割合を引き算
売上高 BSI	前期に比べて売上高が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
収益 BSI	前期に比べて収益が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
仕入価格 BSI	前期に比べて仕入価格が「上昇」した事業者割合から「下降」の割合を引き算
販売価格 BSI	前期に比べて販売価格が「上昇」した事業者割合から「下降」の割合を引き算
在庫 BSI	前期に比べて在庫が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
資金繰り BSI	前期に比べて資金繰りが「改善」した事業者割合から「悪化」の割合を引き算
借入 BSI	前期に比べて借入が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
所定外労働時間 BSI	前期に比べて残業時間が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
雇用者数 BSI	前期に比べて雇用者数が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
雇用適正度	従業員数が「過剰」と回答した事業者割合から「不足」の割合を引き算
設備投資実施比率	当該期間において、設備投資を実施した事業者の割合

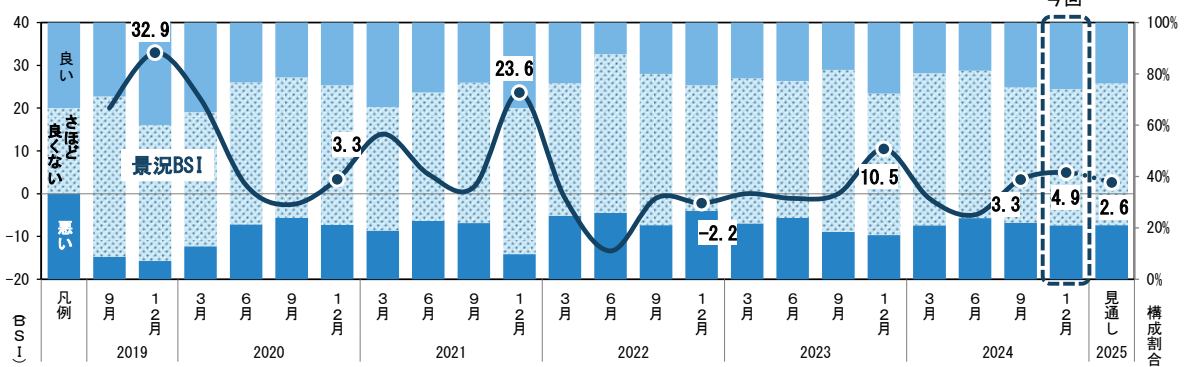
3. 和歌山県内の景気動向

2 建設業の景況感

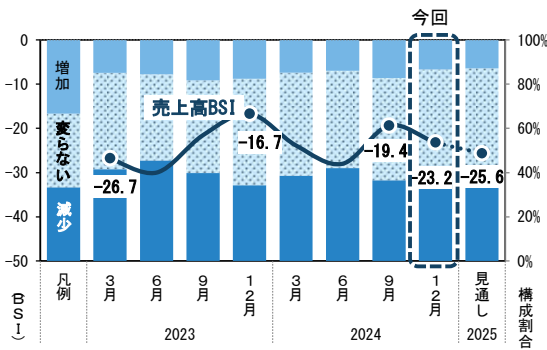
総括 景況 BSI は 2 期連続で上昇（上昇幅は 1.6 ポイントと前期からは縮小）

- 要点
- ① 職別工事業（屋根工、とび工等）を中心に景況感を「良い」とする事業者が増加
 - ② 景況 BSI はプラス水準にあるが、仕入価格の上昇は続いており、収益 BSI の水準が低く収益性の悪化が懸念される

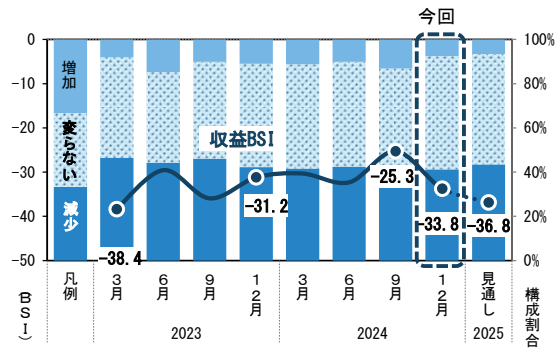
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2023			2024		2024	2025	
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	
	過去実績						今回	見通し
仕入価格 前期比	64.4	60.7	58.5	54.5	64.6	56.5	61.7	51.9
販売価格 前期比	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)
在庫 前期比	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)
資金繰り 前期比	-9.9	-4.3	-5.6	0.0	-6.9	-6.5	-9.6	-8.9
借入 前期比	-4.7	-6.9	-2.8	-4.8	-4.1	-2.3	2.4	-5.1
所定外労働時間 前期比	-27.2	-23.9	-10.2	-3.3	-20.6	-14.1	-8.4	-7.6
雇用者数 前期比	-7.9	-7.8	-2.8	-6.7	-3.0	-8.7	1.2	-3.8
雇用適正度 値が低いほど「不足」	-36.9	-36.7	-51.5	-44.3	-46.4	-33.0	-46.9	(調査なし)
設備投資実施比率 (%)	11.5	18.0	20.8	7.0	14.9	20.9	17.9	16.9

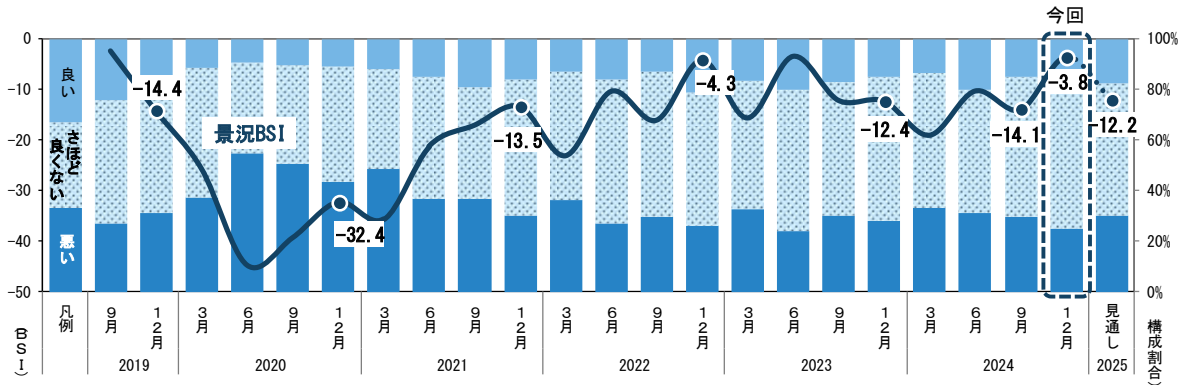
(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

3 製造業の景況感

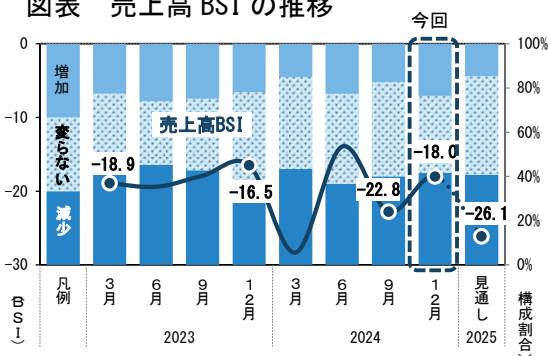
総括 価格転嫁が進んだこともあり、景況 BSI は大幅上昇となるも、見通しは下降

- 要点
- ① 食料品製造業、繊維製品製造業、化学製品製造業で景況感改善。販売価格への転嫁進む
 - ② 収益 BSI は低水準。見通しの景況 BSI は 8.4 ポイント下降し、先行き不透明感が残る

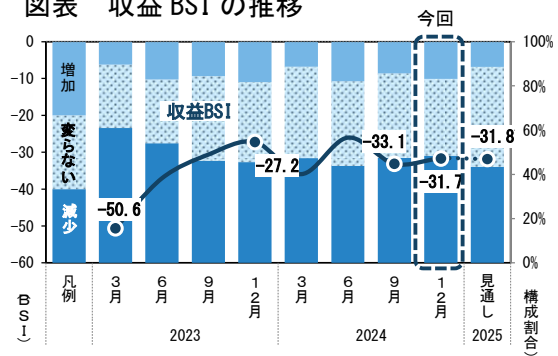
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2023			2024		2024	2025		
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	
	過去実績							今回	見通し
仕入価格 <small>前期比</small>	59.4	55.5	56.5	55.4	63.0	58.3	58.8	48.1	
販売価格 <small>前期比</small>	20.1	24.4	22.6	16.9	23.3	21.8	30.0	25.2	
在庫 <small>前期比</small>	4.1	1.2	2.4	3.0	0.0	-6.2	-2.5	-7.1	
資金繰り <small>前期比</small>	-16.0	-9.8	-12.0	-16.7	-17.3	-16.0	-14.9	-12.7	
借入 <small>前期比</small>	-11.4	0.0	1.2	-8.0	-7.1	-2.9	-1.9	-3.9	
所定外労働時間 <small>前期比</small>	-12.9	-15.6	-7.1	-14.9	-10.4	-16.1	-5.0	-7.1	
雇用者数 <small>前期比</small>	-1.2	-4.1	-1.8	-6.0	0.0	-6.1	-2.5	2.6	
雇用適正度 <small>値が低いほど「不足」</small>	-22.2	-16.0	-26.1	-19.5	-18.6	-26.1	-23.3	(調査なし)	
設備投資実施比率 (%)	27.4	29.4	30.9	26.5	23.3	21.9	22.9	31.3	

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

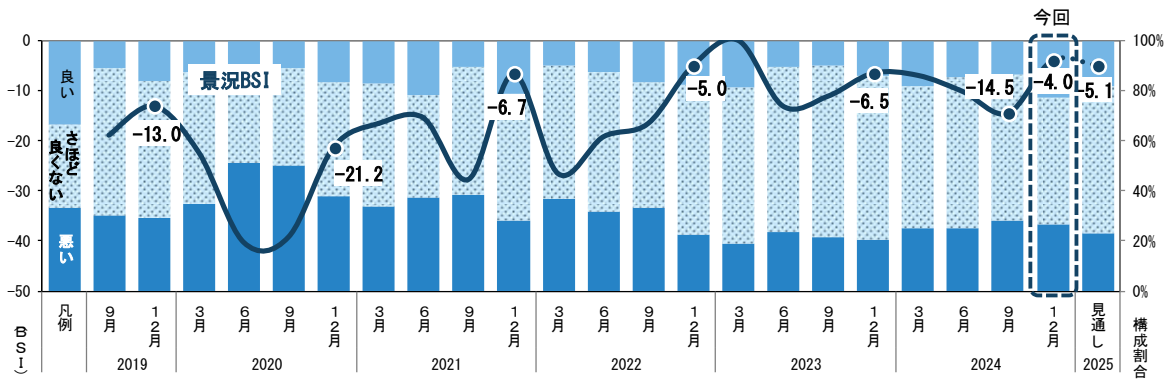
3. 和歌山県内の景気動向

4 卸売業の景況感

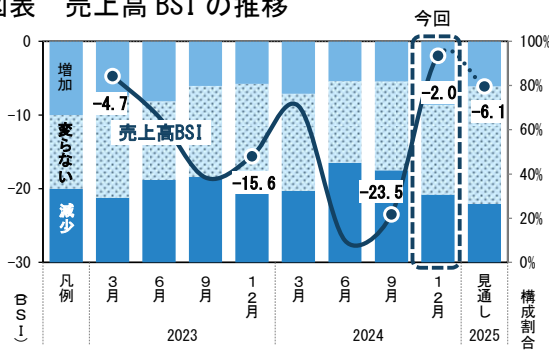
総括 景況 BSI は 10.5 ポイントの大幅上昇

- 要点
- ① 価格転嫁の進捗、年末需要や年度末に向けた需要の増加が重なり、飲食料品卸売業、建築材料卸売業を中心に、景況感を「良い」とする事業者が増えた
 - ② 売上高 BSI、収益 BSI についても大幅な上昇となった

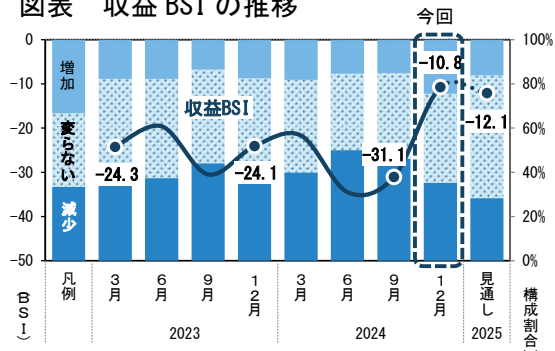
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2023				2024				2024	2025
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	今回	見通し
	過去実績									
仕入価格 <small>前期比</small>	57.0	59.8	55.0	58.8	57.9	56.8	66.7	49.5		
販売価格 <small>前期比</small>	42.1	31.9	29.6	41.6	35.2	32.6	41.2	32.3		
在庫 <small>前期比</small>	-1.9	-4.4	-6.5	2.7	-0.9	-5.5	3.0	-6.1		
資金繰り <small>前期比</small>	-2.8	-7.6	-9.1	-12.9	-14.4	-13.1	-9.0	-8.3		
借入 <small>前期比</small>	-10.2	-13.0	-9.4	-1.8	-4.5	-7.0	-5.9	-6.2		
所定外労働時間 <small>前期比</small>	-9.2	-7.6	-12.8	-12.1	-11.7	-7.6	-5.0	-5.1		
雇用者数 <small>前期比</small>	0.0	-0.8	-8.3	-1.8	0.0	-0.8	1.0	-2.1		
雇用適正度 <small>値が低いほど「不足」</small>	-15.9	-16.8	-31.4	-32.4	-19.4	-13.2	-4.0	(調査なし)		
設備投資実施比率 (%)	24.8	23.1	22.9	14.4	21.2	15.6	21.6	24.4		

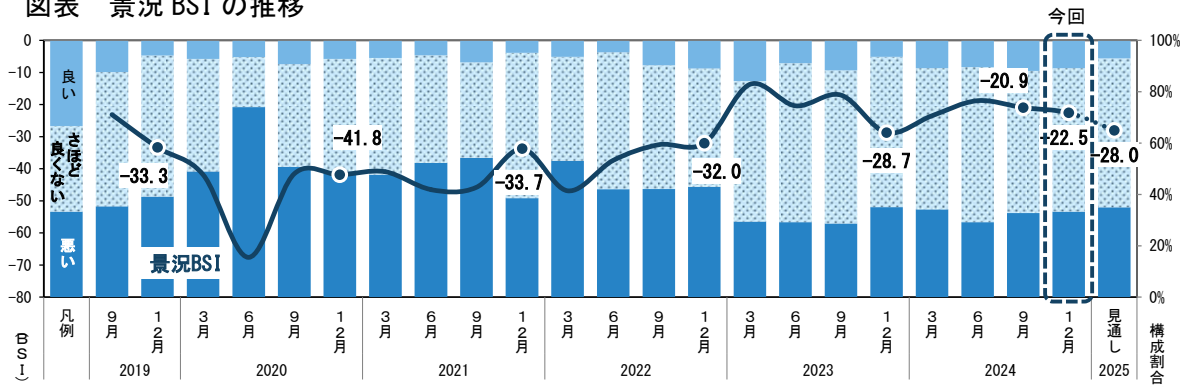
(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

5 小売業の景況感

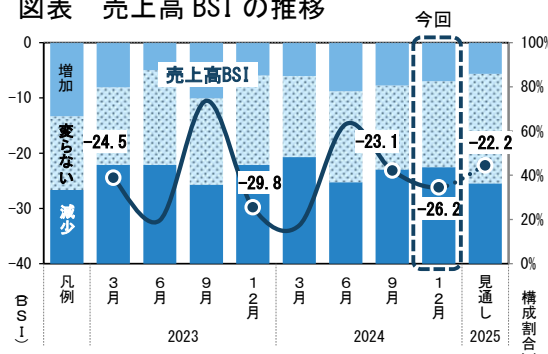
総括 景況 BSI は 2 期連続で下降

- 要点**
- ① 販売価格への転嫁が進む一方で、売上高 BSI は改善しておらず、衣料品小売業、生活・文化用品小売業を中心に、売上高が「減少」しているとの回答が多い
 - ② 人手が「不足」しているとの回答が飲食料品小売業を中心に増加

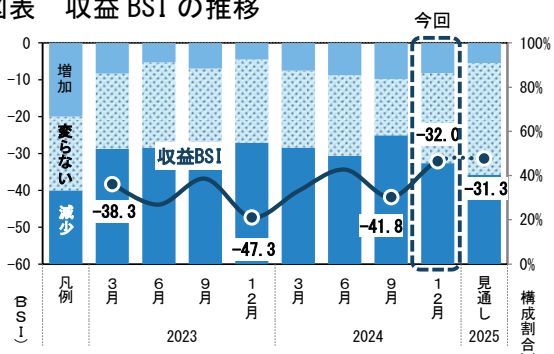
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2023			過去実績		2024		2024	2025
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	
仕入価格 前期比	58.8	66.3	67.0	58.0	63.5	59.1	63.7	58.8	
販売価格 前期比	26.3	33.7	27.7	28.8	34.4	32.4	50.0	45.9	
在庫 前期比	0.9	-9.6	2.2	-4.5	-1.0	-3.7	-5.9	-6.3	
資金繰り 前期比	-20.4	-20.2	-14.7	-15.3	-17.7	-12.6	-18.3	-19.0	
借入 前期比	-10.0	-7.8	-12.2	-15.7	-15.8	-3.6	-4.0	-12.1	
所定外労働時間 前期比	-9.6	-3.2	-2.1	-9.8	-5.2	-9.9	-1.0	1.0	
雇用者数 前期比	-8.0	-4.3	-3.2	0.0	0.0	4.5	0.0	-3.1	
雇用適正度 (値が低いほど「不足」)	-21.6	-26.1	-33.0	-30.0	-26.3	-20.2	-30.4	(調査なし)	
設備投資実施比率 (%)	17.3	20.5	16.1	20.2	14.7	18.3	28.3	20.8	

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

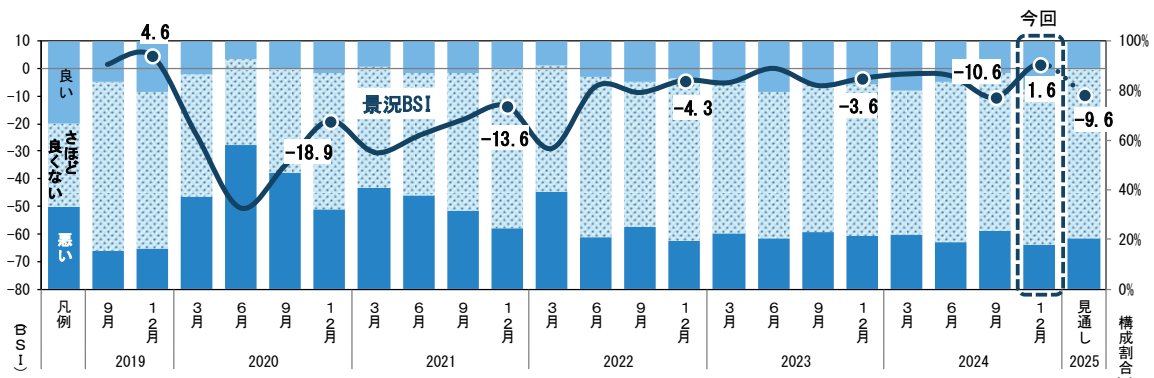
3. 和歌山県内の景気動向

6 サービス業の景況感

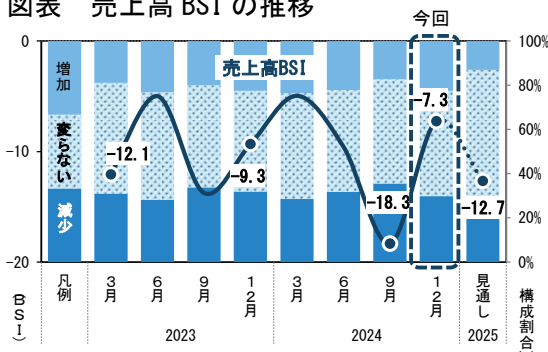
総括 景況 BSI は大幅上昇となり、5年ぶりにプラス水準まで回復（見通しは下降）

- 要点
- ① 南海トラフ地震臨時情報・台風等の影響で7～9月期に業況が悪化していた旅館・ホテル業、飲食業で業況が大きく改善
 - ② 人手不足感が依然として強く、大きな経営課題となっている

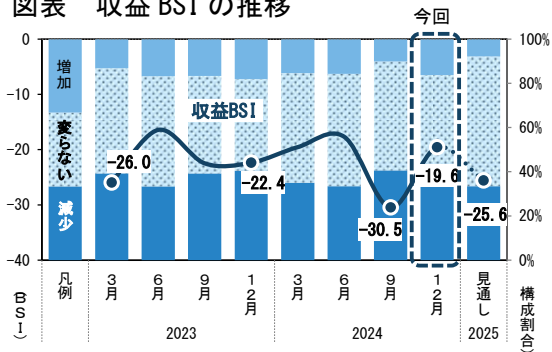
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2023			2024		2024	2025	
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	過去実績						今回	見通し
仕入価格 <small>前期比</small>	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)
販売価格 <small>前期比</small>	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)
在庫 <small>前期比</small>	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)
資金繰り <small>前期比</small>	-6.3	▲ -8.7	◇ -8.3	⇒ -8.3	▲ -12.2	◇ -11.7	◇ -7.8	▲ -10.9
借入 <small>前期比</small>	-3.5	▲ -11.8	◇ -4.5	◇ -1.3	▲ -10.8	◇ -9.4	◇ -2.1	▲ -6.4
所定外労働時間 <small>前期比</small>	-4.6	◇ -2.0	◇ 4.0	▲ -7.4	▲ -7.6	▲ -9.9	◇ -1.2	▲ -5.0
雇用者数 <small>前期比</small>	-5.4	◇ -5.3	▲ -9.4	◇ -4.9	◇ 2.7	▲ -7.4	▲ -8.6	◇ -1.2
雇用適正度 <small>値が低いほど「不足」</small>	-38.9	▲ -40.6	▲ -42.6	◇ -33.1	◇ -26.7	▲ -33.7	▲ -35.1	(調査なし)
設備投資実施比率 (%)	26.2	▲ 23.4	⇒ 23.4	◇ 27.7	▲ 20.4	◇ 26.1	⇒ 26.1	▲ 26.0

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

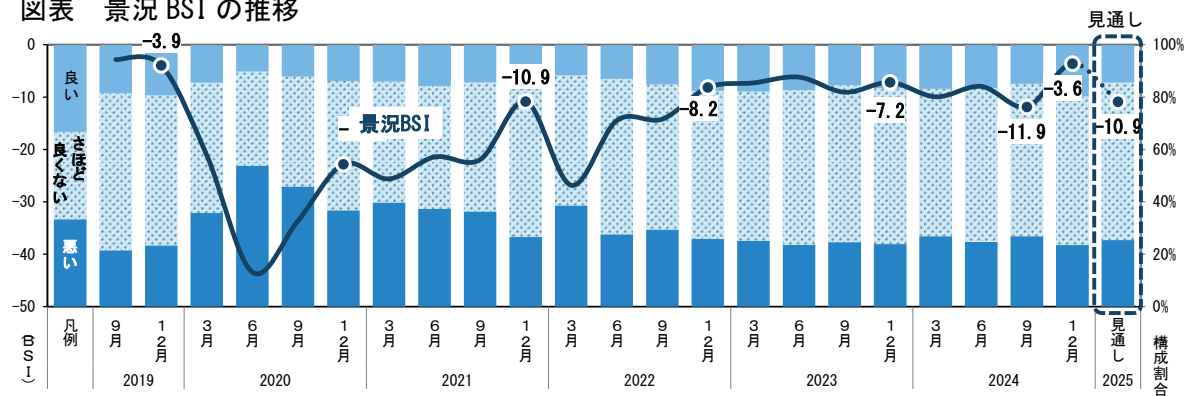
4. 今後の景気の見通し

1 見通し

総括 国内経済は持ち直す見通しだが、県内経済は先行き不透明感が強い

- 要点**
- ① 国内経済は、実質賃金の上昇を背景とした個人消費の回復で持ち直しの動きを見込む（*）米国の貿易政策や日本を含む各国の金融政策の動向など不確定要素も多い
 - ② 県内経済は、景況 BSI が 7.3 ポイント下降するなど、先行き不透明感が強い

図表 景況 BSI の推移



2 国内主要シンクタンクによる国内経済見通し（実質 GDP 成長率[対前年比]）

	2024 年度	2025 年度	ポイント（25 年度見通し）
第一生命経済研究所	+0.3%	+1.1%	・ 25 年度については、賃上げを背景に個人消費が伸びる。製造業部門を中心に設備投資も増加。金融緩和の効果で海外経済は持ち直し、輸出増加が見込まれる
大和総研	+0.6%	+1.4%	・ 25 年度については、物価上昇の減速もあって実質賃金が上昇し、個人消費は伸びる。設備投資は、コロナ禍や物価高で先送りしてきた更新投資などが増加。輸出は半導体市況の回復などを背景に 24 年度並みの増加が予想される
三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング	+0.4%	+1.2%	・ 25 年度については、引き続き高い賃上げ率を背景として内需中心に景気回復が見込まれるが、トランプ米国大統領による通商政策の行方など不確定要素も多い
ニッセイ基礎研究所	+0.4%	+1.1%	・ 25 年度については、「103 万円の壁」の引き上げから家計の可処分所得が増加し、民間消費は伸びる。トランプ米国大統領による関税引き上げなどで、米国・中国の経済成長率は押し下げ。輸出の見通しは悪化

5. 経営上の問題点

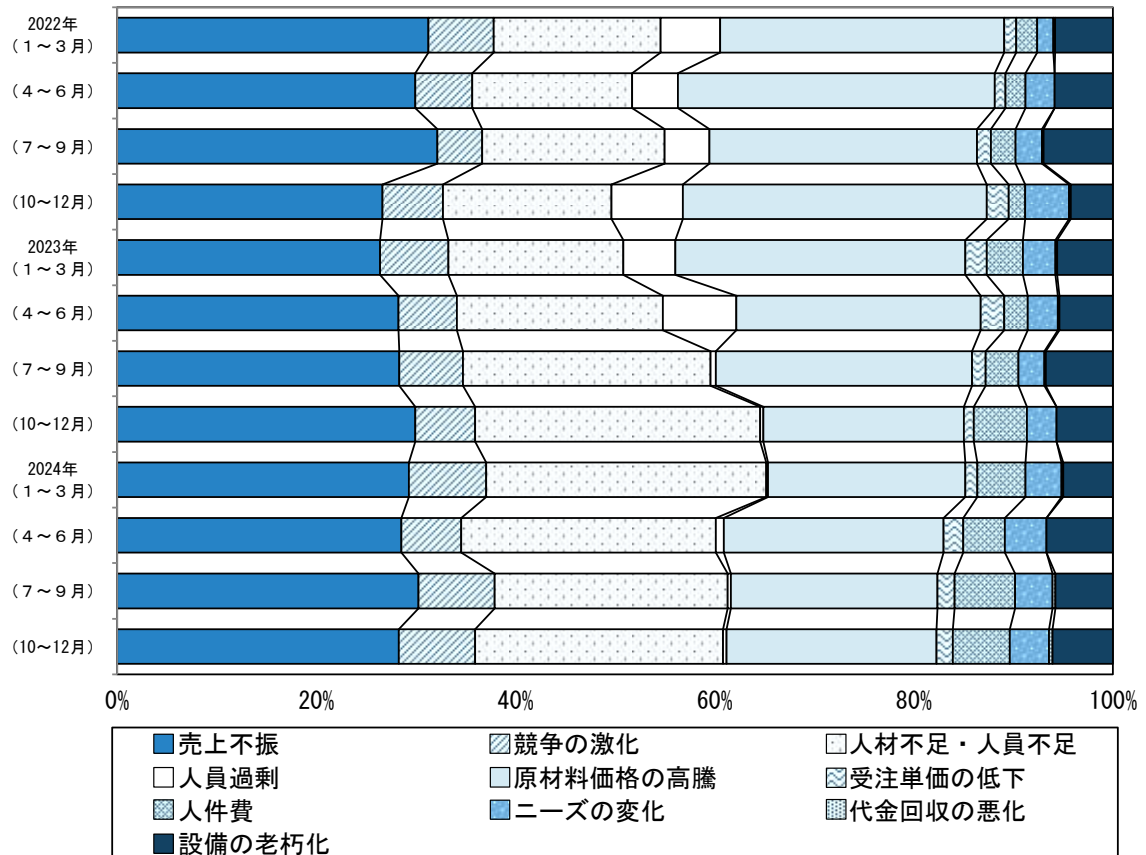
総括 県内景気の改善もあり、「人材不足・人員不足」が1年ぶりに増加

- 要点**
- ① 1位は「売上不振」。前回から2.0ポイント減少
 - ② 2位は「人材不足・人員不足」で1年ぶりに増加。建設業、小売業で特に増えた
 - ③ 3位は「原材料価格の高騰」。前回から0.4ポイント増加

経営上の問題点（主なもの）

	1位	2位	3位	4位
前々回 (2024年4~6月)	売上不振 28.5%	人材不足・人員不足 25.5%	原材料価格の高騰 22.0%	設備の老朽化 6.7%
前回 (2024年7~9月)	売上不振 30.3%	人材不足・人員不足 23.4%	原材料価格の高騰 20.7%	競争の激化 7.6%
今回 (2024年10~12月)	売上不振 28.3%	人材不足・人員不足 24.9%	原材料価格の高騰 21.1%	競争の激化 7.7%

経営上の問題点の推移

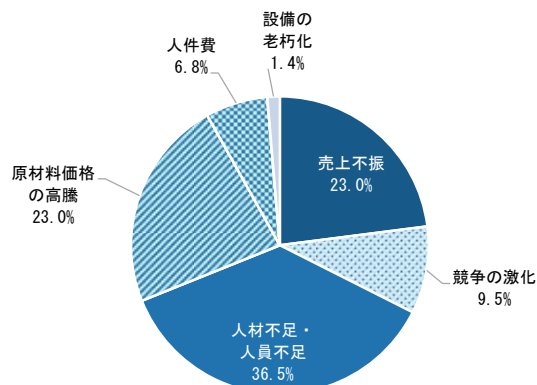


□ 産業別経営上の問題点（上位3項目）

（ ）内の丸数字は前回順位、数値は前回調査値

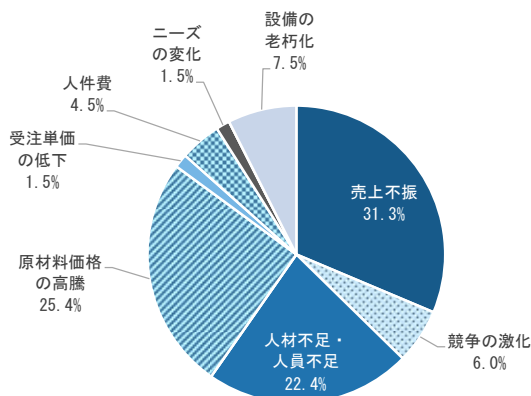
【建設業】「人材不足・人員不足」が2.8ポイント増加

1. 人材不足・人員不足…36.5% (①33.7%)
2. 売上不振……………23.0% (②27.7%)
2. 原材料価格の高騰……23.0% (③16.9%)



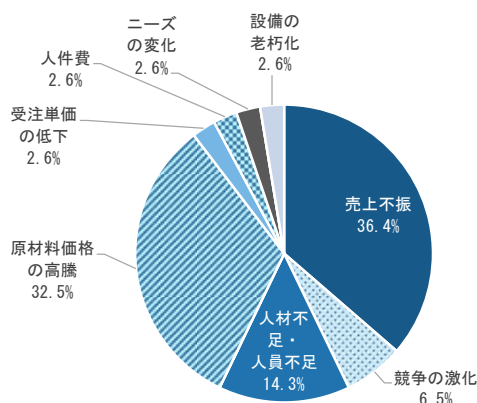
【製造業】「人材不足・人員不足」が1.3ポイント増加

1. 売上不振……………31.3% (①32.9%)
2. 原材料価格の高騰……25.4% (②27.6%)
3. 人材不足・人員不足…22.4% (③21.1%)



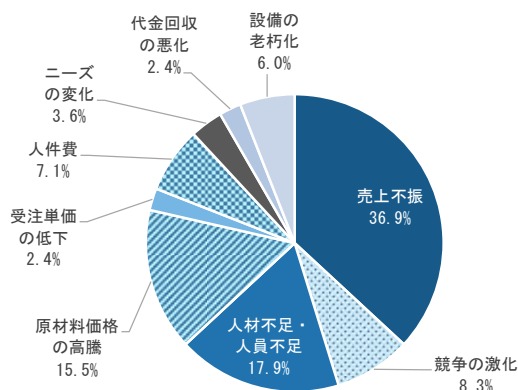
【卸売業】「原材料価格の高騰」が9.1ポイント増加

1. 売上不振……………36.4% (①33.6%)
2. 原材料価格の高騰……32.5% (②23.4%)
3. 人材不足・人員不足…14.3% (③15.9%)



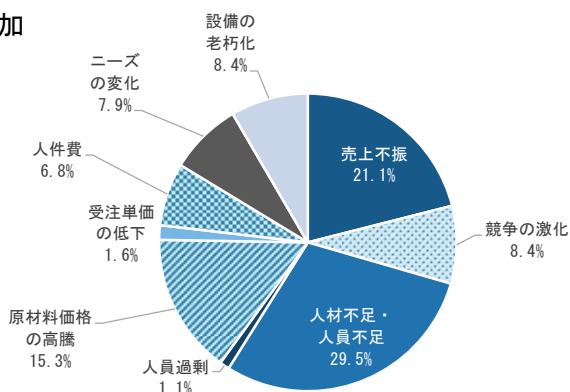
【小売業】「原材料価格の高騰」が8.7ポイント減少

1. 売上不振……………36.9% (①38.5%)
2. 人材不足・人員不足…17.9% (③14.3%)
3. 原材料価格の高騰……15.5% (②24.2%)



【サービス業】「人材不足・人員不足」が0.7ポイント増加

1. 人材不足・人員不足…29.5% (①28.8%)
2. 売上不振……………21.1% (②24.0%)
3. 原材料価格の高騰……15.3% (③14.4%)



6. 県内経済指標

1 県内経済指標から見る和歌山県経済

総括 個人消費に弱さが見られる

- 要点
- ① 低迷が続いていた鉱工業生産指数で改善傾向が見られる
 - ② 百貨店・スーパー販売額は減少傾向が見られる
 - ③ 11月の有効求人倍率は1.11倍（8月に比べて0.03ポイント下降）

□ グラフで見る和歌山県経済指標（データ基準月：11月 ※鉱工業生産指数は10月）

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								有効求人倍率		充足率	
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	全国(倍)	和歌山県(倍)	パートタイム除く(%)	パートタイム(%)
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1.60	1.41	17.6	17.1
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1.18	1.05	16.2	18.8
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1.13	1.09	15.2	18.2
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1.28	1.15	14.8	16.8
2023年	103.9	89.8	78.3	92.0	91.2	86.8	104.0	139.4	1.31	1.13	14.7	18.2
2023年10月	104.4	90.3	77.4	95.6	88.6	103.8	100.6	149.7	1.29	1.10	14.8	16.2
11月	103.8	87.7	76.5	98.4	80.7	20.6	102.3	149.6	1.27	1.10	14.9	50.9
12月	105.0	75.0	68.7	78.8	73.8	31.5	96.9	148.5	1.27	1.10	13.0	15.4
2024年1月	98.0	76.3	75.9	82.2	78.5	21.5	83.9	164.4	1.27	1.14	10.8	11.8
2月	97.4	78.4	73.0	91.9	76.4	17.1	95.1	150.5	1.26	1.18	14.1	18.3
3月	101.7	71.7	64.1	79.5	72.4	18.0	81.6	151.3	1.28	1.15	17.1	24.2
4月	100.8	83.5	66.8	87.2	82.1	21.0	88.7	142.4	1.26	1.14	16.5	19.3
5月	104.4	85.0	76.7	94.1	76.4	19.1	110.0	152.7	1.24	1.10	15.3	21.3
6月	100.0	76.9	70.5	85.6	82.0	19.9	95.5	153.2	1.23	1.13	14.5	17.7
7月	103.1	80.9	69.9	91.3	82.9	20.1	104.7	146.3	1.24	1.13	13.2	16.5
8月	99.7	76.2	70.5	86.9	74.5	15.2	100.5	144.2	1.23	1.14	12.6	13.7
9月	101.3	83.4	78.9	85.4	87.9	22.1	102.8	166.0	1.24	1.12	12.7	17.7
10月	104.1	85.0	72.4	88.3	83.8	27.6	110.4	176.2	1.25	1.10	14.5	16.4
11月	101.7								1.25	1.11	13.2	17.0

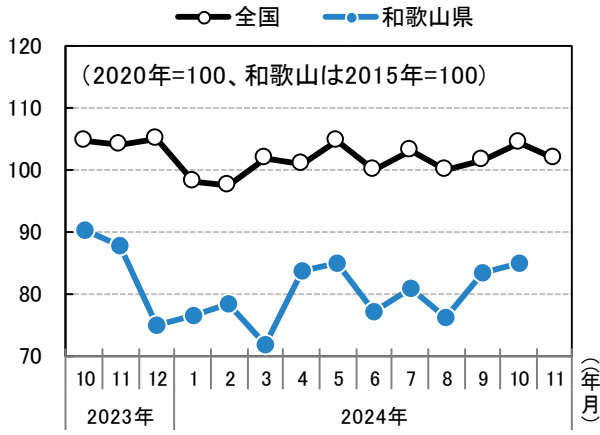
	百貨店・スーパー販売額			新車登録台数			新設住宅着工戸数			公共工事請負額	
	販売額(億円)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)	登録台数(台)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)	着工戸数(戸)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)	請負金額(億円)	和歌山県(前年比)
2019年	1,188	-1.1	-1.9	22,456	-1.9	-0.2	5,188	-4.0	5.1	1,585.1	6.6
2020年	1,133	-5.4	-5.4	20,217	-12.3	-10.0	4,514	-9.9	-13.0	1,847.2	16.5
2021年	1,093	0.9	-3.7	18,949	-2.9	-6.3	4,591	5.0	1.7	1,806.3	-2.2
2022年	1,090	3.8	-0.3	17,299	-8.3	-8.7	4,758	0.4	3.6	1,584.1	-12.3
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8	1,711.6	8.0
2023年10月	88.5	4.0	-1.0	1,615	14.9	12.4	446	-6.3	19.9	106.5	5.9
11月	92.3	4.4	0.2	1,700	15.1	13.9	325	-8.5	-3.8	92.3	57.7
12月	106.2	2.6	-1.5	1,516	11.1	1.1	218	-4.0	-50.9	143.9	225.0
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	1,501	-5.5	-10.3	269	-7.5	-24.0	107.7	65.4
2月	86.7	7.6	0.0	1,531	-16.0	-16.3	205	-8.2	-45.8	71.5	8.8
3月	87.2	6.9	1.5	2,128	-19.9	-12.2	305	-12.8	12.5	164.9	-42.2
4月	87.2	3.0	-1.3	1,442	-5.7	-8.2	354	13.9	13.5	180.4	-12.3
5月	87.1	4.4	-1.5	1,331	-2.4	-9.1	488	-5.3	75.5	196.1	20.3
6月	89.4	6.9	1.1	1,520	-7.0	-16.6	253	-6.7	12.4	135.9	-12.5
7月	93.0	1.3	-0.4	1,787	3.9	1.0	314	-0.2	-19.5	163.4	8.6
8月	98.3	4.5	2.3	1,457	-2.4	6.5	404	-5.1	-2.7	139.5	37.2
9月	85.5	1.8	-2.0	1,838	0.8	0.4	249	-0.6	-28.0	223.2	26.2
10月	86.9	-0.6	-1.8	1,717	6.6	6.3	269	-2.9	-39.7	104.9	-1.5
11月	92.9	3.3	0.7	1,633	-2.0	-3.9	364	-1.8	12.0	74.7	-19.0

(注1)鉱工業生産指数、有効求人倍率は季節調整値[ただし、年次値は除く]

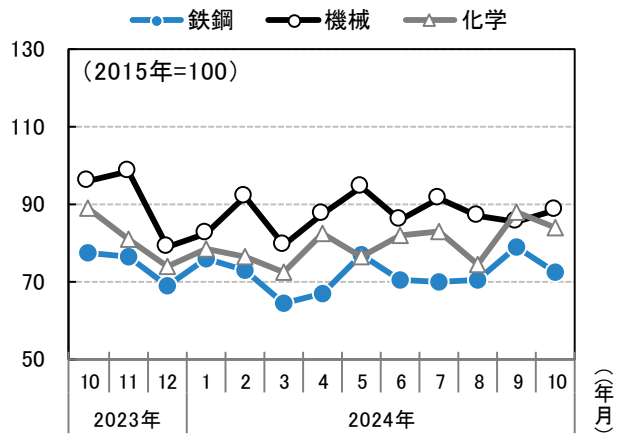
(2025年1月6日に取得可能な資料より作成)

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。

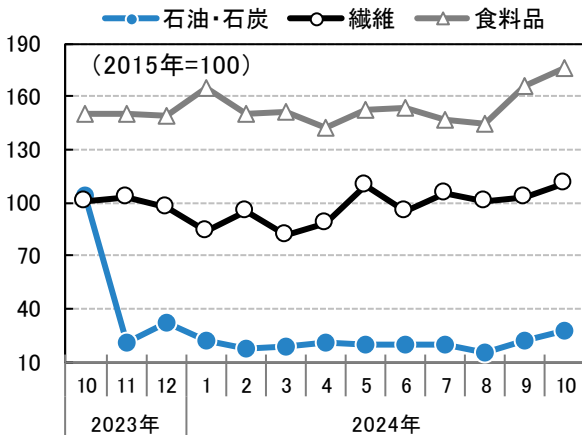
鉱工業生産指数



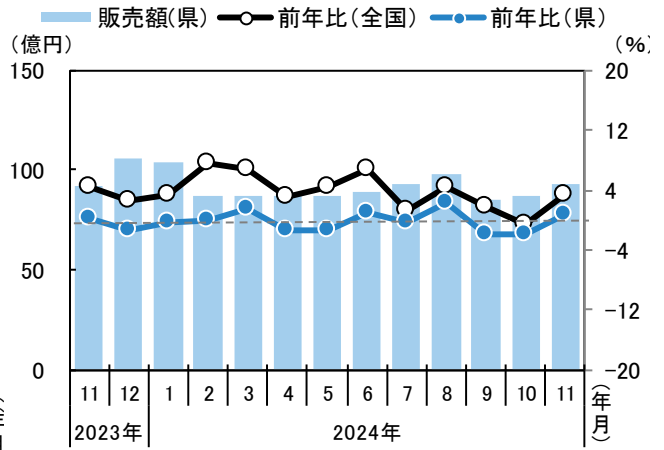
鉱工業生産指数(和歌山県)



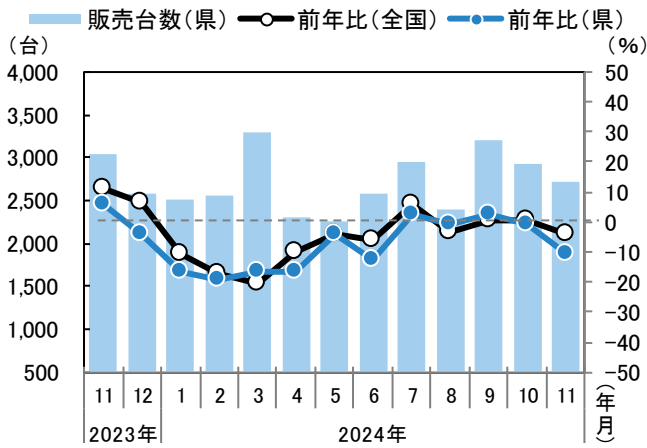
鉱工業生産指数(和歌山県)



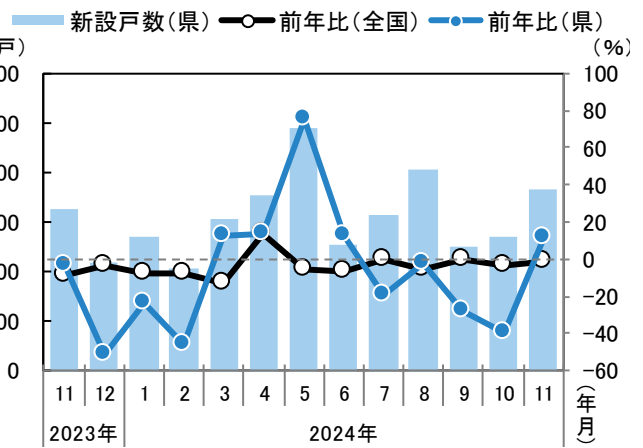
百貨店・スーパー販売額



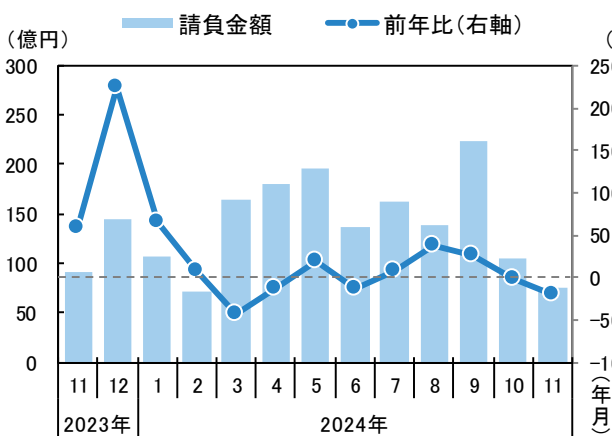
新車(登録車+軽自動車)販売台数



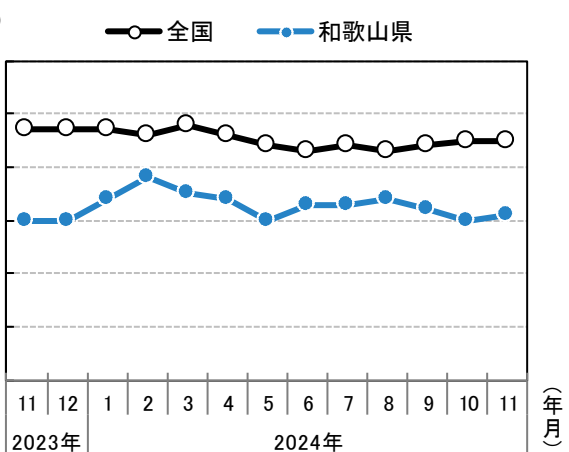
新設住宅着工戸数



公共工事請負金額(和歌山県)



有効求人倍率





www.wsk.or.jp

一般財団法人 和歌山社会経済研究所

〒640-8033 和歌山市本町2丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL 073 (432) 1444 FAX 073 (424) 5350

発行日 : 2025 年 1 月 31 日